



茨城県

# 茨城県景気ウォッチャー調査

(令和3年12月調査分)

## 《景気の現状判断DI》

	令和3年9月	令和3年12月	前回調査との差
茨城県	34.7	<b>61.2</b>	+26.5
県北地域	32.2	<b>63.4</b>	+31.2
県央地域	34.2	<b>65.4</b>	+31.2
鹿行地域	38.1	<b>58.5</b>	+20.4
県南地域	37.5	<b>61.2</b>	+23.7
県西地域	31.5	<b>57.1</b>	+25.6

## 《景気の先行き判断DI》

	令和3年9月	令和3年12月	前回調査との差
茨城県	51.4	<b>52.2</b>	+0.8
県北地域	50.4	<b>50.0</b>	△0.4
県央地域	51.8	<b>55.3</b>	+3.5
鹿行地域	51.7	<b>50.5</b>	△1.2
県南地域	55.6	<b>55.4</b>	△0.2
県西地域	47.4	<b>50.0</b>	+2.6

令和4年1月

茨城県政策企画部統計課

## 目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問合せ先  
茨城県統計課企画分析グループ TEL:029-301-2632  
公式サイトのURL  
<https://www.pref.ibaraki.jp/kikaku/tokei/fukyu/tokei/betsu/bukka/watch/index.html>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

## 2 調査の範囲

### (1) 対象地域

県下全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市町村は以下のとおりである。

地域	市 町 村
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、東海村、大子町
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、美浦村、阿見町、河内町、利根町
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町

### (2) 調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

業 種 名	具 体 例	県北 地域	県央 地域	鹿行 地域	県南 地域	県西 地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	36	36	36	184
企業関連	製造業、建設業、金融業等	19	16	19	19	19	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	5	5	5	5	24
	計	60	60	60	60	60	300

## 3 有効回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	278 人	92.7%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県央地域	60 人	57 人	95.0%
鹿行地域	60 人	53 人	88.3%
県南地域	60 人	56 人	93.3%
県西地域	60 人	56 人	93.3%

## 4 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

## 5 調査月及び調査期間

調査月は6月、9月、12月及び3月の年4回である。令和3年12月調査の調査期間は、令和3年12月5日から20日までである。

## 6 利用上の注意

(1) DI (Diffusion Index) は景気の方方向性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。

(2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

### ※DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比(%)に乗じて、景気の方方向性をみるための指標(DI)を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

- 2 具体例  
回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は、

良くなって いる	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は50(=0.5点×100%)となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、50を下回っているときは、景気の下局面にあるといえる。

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 全県の動向

#### (1)景気の現状判断DI

景気の現状判断DIは61.2となった。令和3年9月調査（以下「前回調査」という。）より26.5ポイント上昇し、横ばいを表す50を13期ぶりに上回った。

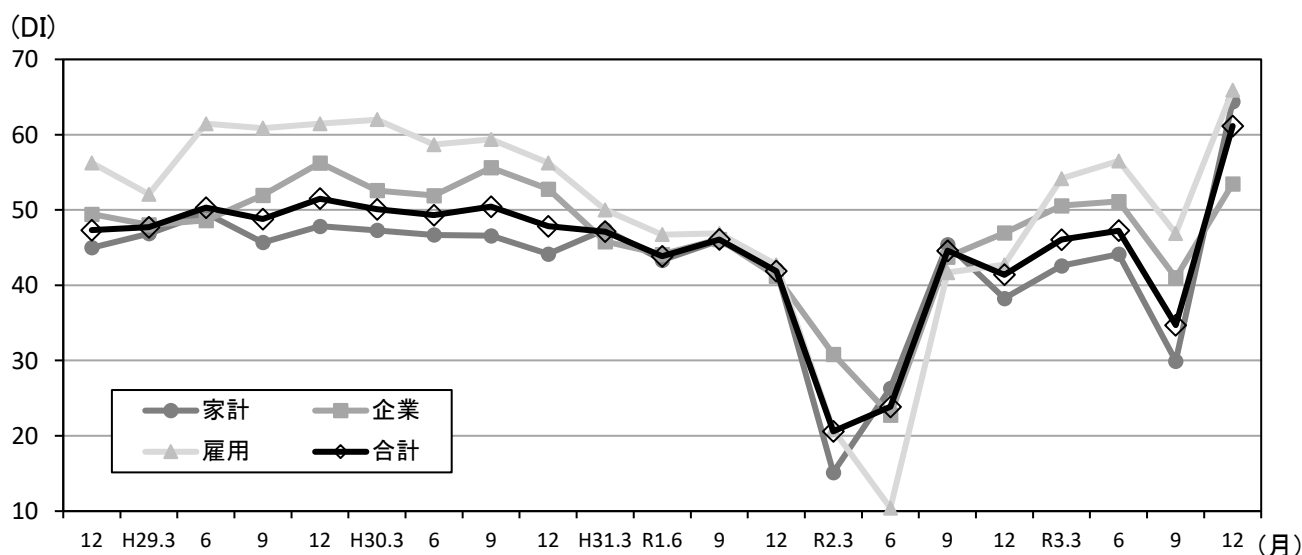
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
合計		41.4	46.1	47.3	34.7	61.2
家計動向関連		38.2	42.6	44.1	29.9	64.4
小売関連		42.9	41.7	38.7	29.3	53.2
飲食関連		31.0	28.9	42.7	12.5	72.7
サービス関連		36.8	45.9	49.7	33.1	75.4
住宅関連		31.3	53.1	44.4	50.0	46.9
企業動向関連		46.9	50.6	51.1	41.0	53.5
農林水産業		37.5	50.0	54.2	45.8	57.1
製造業		48.5	51.6	49.5	38.5	53.1
非製造業		46.4	49.2	52.9	43.6	53.2
雇用関連		42.7	54.2	56.5	46.9	65.9

表1-2 回答構成比

	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
良くなっている	5.3%	2.1%	4.5%	1.4%	14.4%
やや良くなっている	16.7%	26.1%	23.4%	8.9%	38.8%
変わらない	30.9%	38.6%	39.9%	40.5%	29.5%
やや悪くなっている	32.6%	20.4%	21.3%	25.4%	11.5%
悪くなっている	14.5%	12.9%	11.0%	23.7%	5.8%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



## (2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは52.2となった。前回調査より0.8ポイント上昇し、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

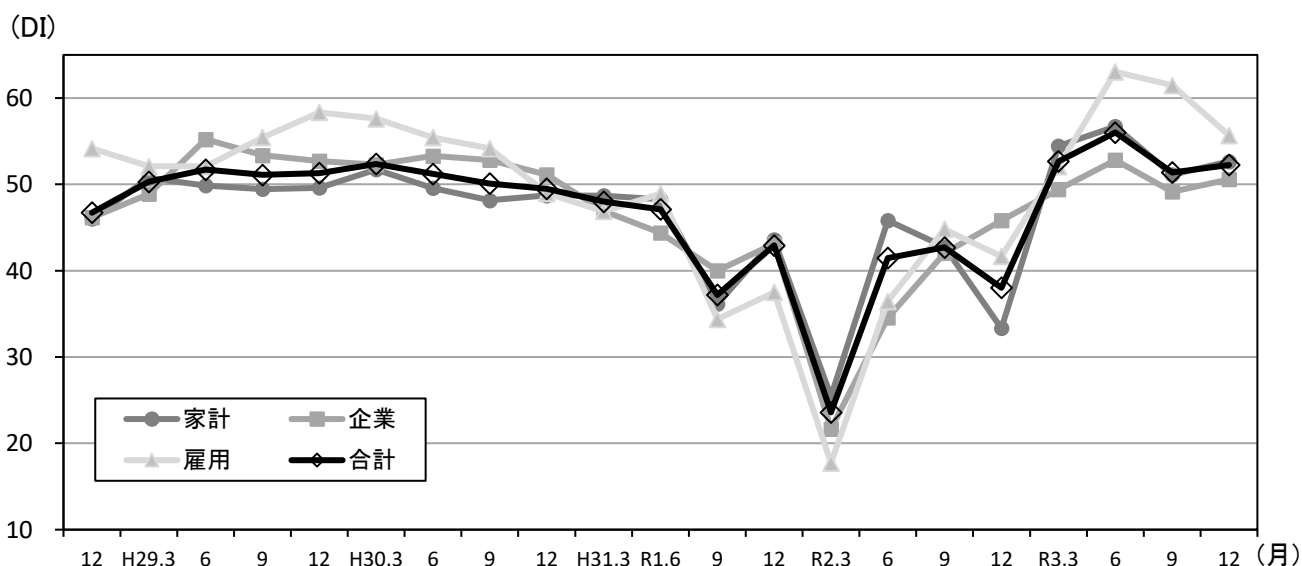
表1-3 景気の先行き判断DI

分野	調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
合計		38.0	52.7	56.0	51.4	52.2
家計動向関連		33.3	54.4	56.7	51.1	52.6
小売関連		35.4	51.4	52.1	48.6	49.6
飲食関連		28.6	55.3	58.3	46.6	58.0
サービス関連		31.9	57.2	63.7	56.8	54.7
住宅関連		40.6	53.1	30.6	33.3	46.9
企業動向関連		45.8	49.4	52.8	49.2	50.6
農林水産業		50.0	53.6	50.0	41.7	50.0
製造業		47.4	46.8	53.1	47.4	48.4
非製造業		42.9	52.3	52.9	52.9	54.0
雇用関連		41.7	52.1	63.0	61.5	55.7

表1-4 回答構成比

	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
良くなっている	1.1%	4.3%	6.2%	4.1%	5.0%
やや良くなっている	12.4%	29.6%	35.7%	28.2%	29.5%
変わらない	40.8%	45.0%	40.5%	43.6%	41.7%
やや悪くなっている	29.1%	14.6%	11.0%	17.2%	16.9%
悪くなっている	16.7%	6.4%	6.5%	6.9%	6.8%

図1-2 景気の先行き判断DIの推移



## 2 地域別の動向

### (1)景気の現状判断DI

#### ① 県北地域

景気の現状判断DIは63.4となった。前回調査より31.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を13期ぶりに上回った。

表2-1 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	<b>44.9</b>	<b>40.6</b>	<b>47.8</b>	<b>32.2</b>	<b>63.4</b>
家計動向関連	42.7	40.9	45.7	29.2	68.9
企業動向関連	51.3	40.8	52.6	38.2	53.9
雇用関連	31.3	37.5	41.7	31.3	62.5

表2-2 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	7.4%	1.8%	7.0%	1.7%	10.7%
やや良くなっている	22.2%	16.1%	22.8%	5.1%	48.2%
変わらない	24.1%	41.1%	31.6%	39.0%	28.6%
やや悪くなっている	35.2%	25.0%	31.6%	28.8%	8.9%
悪くなっている	11.1%	16.1%	7.0%	25.4%	3.6%

#### ② 県央地域

景気の現状判断DIは65.4となった。前回調査より31.2ポイント上昇して、横ばいを表す50を3期ぶりに上回った。

表2-3 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	<b>38.8</b>	<b>50.4</b>	<b>45.4</b>	<b>34.2</b>	<b>65.4</b>
家計動向関連	38.8	52.1	44.2	29.6	70.5
企業動向関連	45.0	51.7	46.9	39.3	51.8
雇用関連	20.0	35.0	50.0	55.0	62.5

表2-4 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	5.2%	3.6%	3.3%	1.8%	19.3%
やや良くなっている	15.5%	30.4%	20.0%	10.5%	40.4%
変わらない	25.9%	42.9%	46.7%	40.4%	26.3%
やや悪くなっている	36.2%	10.7%	15.0%	17.5%	10.5%
悪くなっている	17.2%	12.5%	15.0%	29.8%	3.5%

### ③ 鹿行地域

景気の現状判断DIは58.5となった。前回調査より20.4ポイント上昇して、横ばいを表す50を14期ぶりに上回った。

表2-5 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	<b>44.9</b>	<b>42.7</b>	<b>46.1</b>	<b>38.1</b>	<b>58.5</b>
家計動向関連	42.9	35.0	41.4	32.9	60.9
企業動向関連	47.4	54.2	51.4	43.4	52.9
雇用関連	50.0	55.0	60.0	55.0	62.5

表2-6 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	3.4%	0.0%	3.4%	1.7%	9.4%
やや良くなっている	18.6%	22.4%	25.9%	16.9%	41.5%
変わらない	37.3%	37.9%	29.3%	33.9%	26.4%
やや悪くなっている	35.6%	27.6%	34.5%	27.1%	18.9%
悪くなっている	5.1%	12.1%	6.9%	20.3%	3.8%

### ② 県南地域

景気の現状判断DIは61.2となった。前回調査より23.7ポイント上昇して、横ばいを表す50を2期ぶりに上回った。

表2-7 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	<b>39.7</b>	<b>52.2</b>	<b>50.9</b>	<b>37.5</b>	<b>61.2</b>
家計動向関連	34.6	48.5	51.4	33.8	62.9
企業動向関連	46.1	54.2	48.6	40.8	55.6
雇用関連	50.0	70.0	55.0	50.0	70.0

表2-8 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	6.9%	5.4%	6.9%	1.7%	21.4%
やや良くなっている	10.3%	30.4%	20.7%	5.2%	30.4%
変わらない	34.5%	42.9%	51.7%	48.3%	28.6%
やや悪くなっている	31.0%	10.7%	10.3%	31.0%	10.7%
悪くなっている	17.2%	10.7%	10.3%	13.8%	8.9%



### ③ 県西地域

景気の現状判断DIは57.1となった。前回調査より25.6ポイント上昇して、横ばいを表す50を31期ぶりに上回った。

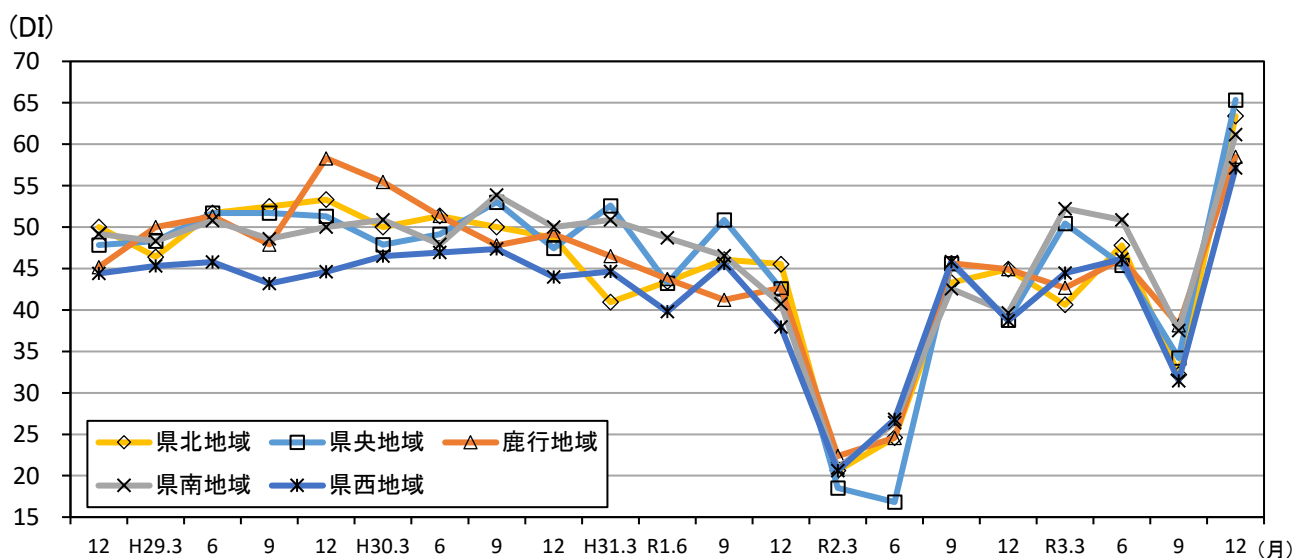
表2-9 景気の現状判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1
家計動向関連	31.7	35.9	37.9	24.3	57.6
企業動向関連	44.4	52.9	55.6	43.1	52.8
雇用関連	60.0	70.0	70.0	40.0	70.0

表2-10 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	3.8%	0.0%	1.7%	0.0%	10.7%
やや良くなっている	17.0%	31.5%	27.6%	6.9%	33.9%
変わらない	32.1%	27.8%	39.7%	41.4%	37.5%
やや悪くなっている	24.5%	27.8%	15.5%	22.4%	8.9%
悪くなっている	22.6%	13.0%	15.5%	29.3%	8.9%

図2-1 地域別現状判断DIの推移



	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3月	R3.6月	R3.9月	R3.12月
県全体	47.3	47.7	50.3	48.8	51.5	50.1	49.3	50.4	47.8	47.1	43.8	46.1	41.9	20.6	23.8	44.6	41.4	46.1	47.3	34.7	61.2
県北	50.0	46.4	51.7	52.5	53.3	50.0	51.3	50.0	48.7	40.9	43.4	46.1	45.5	20.6	24.6	43.3	44.9	40.8	47.8	32.2	63.4
県中央	47.8	48.3	51.7	51.7	51.3	47.9	49.2	53.0	47.5	52.6	43.2	50.9	42.5	18.5	16.8	45.6	38.8	50.5	45.4	34.2	65.4
鹿行	45.2	50.0	51.3	47.9	58.3	55.5	51.3	47.8	49.1	46.5	43.8	41.2	42.7	22.4	24.6	45.6	44.9	42.7	46.1	38.1	58.5
県南	49.2	48.3	50.8	48.6	50.0	50.9	47.9	53.9	50.0	50.9	48.7	46.6	40.7	20.9	26.4	42.5	39.7	52.2	50.9	37.5	61.2
県西	44.4	45.3	45.8	43.2	44.6	46.5	46.9	47.4	44.0	44.6	39.8	45.6	37.9	20.6	26.8	45.8	38.7	44.4	46.1	31.5	57.1
全国	49.3	48.9	51.2	50.3	51.8	50.2	49.8	47.1	45.5	45.5	45.1	44.9	38.3	14.9	40.0	47.8	34.3	49.0	47.6	42.1	56.4(季節調整値)
	51.2	50.6	49.9	49.6	53.9	51.7	48.2	47.3	48.2	46.7	43.3	45.7	40.7	15.9	38.0	48.7	36.5	49.5	45.4	43.3	58.6(原数値)

## (2)景気の先行き判断DI

### ① 県北地域

景気の先行き判断DIは50.0となった。前回調査より0.4ポイント低下して、横ばいを表す50となった。

表2-11 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	<b>36.1</b>	<b>46.9</b>	<b>52.6</b>	<b>50.4</b>	<b>50.0</b>
家計動向関連	31.5	50.8	55.0	51.4	53.8
企業動向関連	44.7	40.8	50.0	48.7	43.4
雇用関連	31.3	43.8	41.7	50.0	50.0

表2-12 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	3.7%	0.0%	5.3%	3.4%	3.6%
やや良くなっている	9.3%	28.6%	29.8%	27.1%	30.4%
変わらない	35.2%	39.3%	43.9%	40.7%	37.5%
やや悪くなっている	31.5%	23.2%	12.3%	25.4%	19.6%
悪くなっている	20.4%	8.9%	8.8%	3.4%	8.9%

### ② 県央地域

景気の先行き判断DIは55.3となった。前回調査より3.5ポイント上昇して、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
分野	12月	3月	6月	9月	12月
合計	<b>39.7</b>	<b>58.9</b>	<b>57.5</b>	<b>51.8</b>	<b>55.3</b>
家計動向関連	38.8	64.6	57.1	52.0	56.4
企業動向関連	45.0	53.3	57.8	46.4	50.0
雇用関連	30.0	35.0	60.0	65.0	62.5

表2-14 回答構成比

	令和2年	令和3年	令和3年	令和3年	令和3年
	12月	3月	6月	9月	12月
良くなっている	0.0%	1.8%	5.0%	1.8%	12.3%
やや良くなっている	17.2%	46.4%	43.3%	31.6%	28.1%
変わらない	41.4%	41.1%	36.7%	45.6%	35.1%
やや悪くなっている	24.1%	7.1%	6.7%	14.0%	17.5%
悪くなっている	17.2%	3.6%	8.3%	7.0%	7.0%

### ③ 鹿行地域

景気の先行き判断D Iは50.5となった。前回調査より1.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-15 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
分野					
合計	<b>37.7</b>	<b>53.4</b>	<b>55.2</b>	<b>51.7</b>	<b>50.5</b>
家計動向関連	31.4	51.4	53.6	49.3	48.4
企業動向関連	46.1	56.9	54.2	53.9	55.9
雇用関連	50.0	55.0	70.0	60.0	43.8

表2-16 回答構成比

	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
良くなっている	0.0%	3.4%	1.7%	5.1%	0.0%
やや良くなっている	15.3%	25.9%	37.9%	30.5%	28.3%
変わらない	37.3%	51.7%	41.4%	35.6%	47.2%
やや悪くなっている	30.5%	19.0%	17.2%	23.7%	22.6%
悪くなっている	16.9%	0.0%	1.7%	5.1%	1.9%

### ② 県南地域

景気の先行き判断D Iは55.4となった。前回調査より0.2ポイント低下したものの、横ばいを表す50を4期連続で上回った。

表2-17 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
分野					
合計	<b>38.4</b>	<b>53.6</b>	<b>59.9</b>	<b>55.6</b>	<b>55.4</b>
家計動向関連	34.6	53.8	62.9	57.4	56.1
企業動向関連	44.7	50.0	52.8	48.7	52.8
雇用関連	40.0	65.0	65.0	70.0	60.0

表2-18 回答構成比

	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
良くなっている	1.7%	10.7%	12.1%	5.2%	7.1%
やや良くなっている	6.9%	23.2%	32.8%	34.5%	35.7%
変わらない	44.8%	42.9%	41.4%	43.1%	37.5%
やや悪くなっている	36.2%	16.1%	10.3%	12.1%	10.7%
悪くなっている	10.3%	7.1%	3.4%	5.2%	8.9%

③ 県西地域

景気の先行き判断DIは50.0となった。前回調査より2.6ポイント上昇して、横ばいを表す50となった。

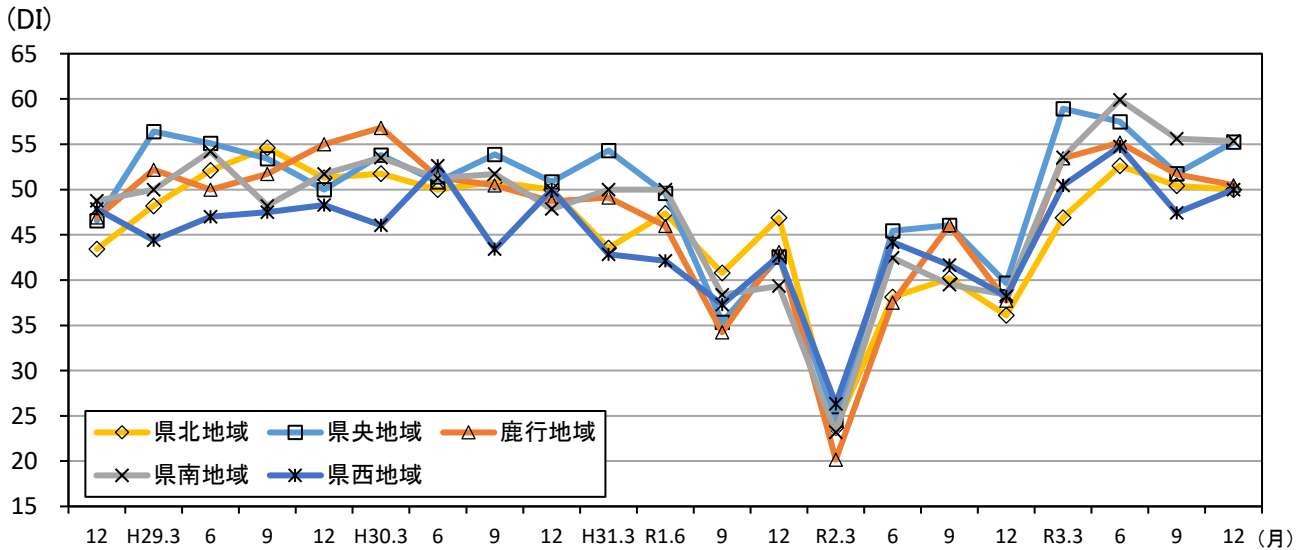
表2-19 景気の先行き判断DI

調査年月	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
分野					
合計	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0
家計動向関連	29.2	50.8	55.0	45.7	47.7
企業動向関連	48.6	47.1	50.0	47.2	51.4
雇用関連	55.0	60.0	70.0	60.0	60.0

表2-20 回答構成比

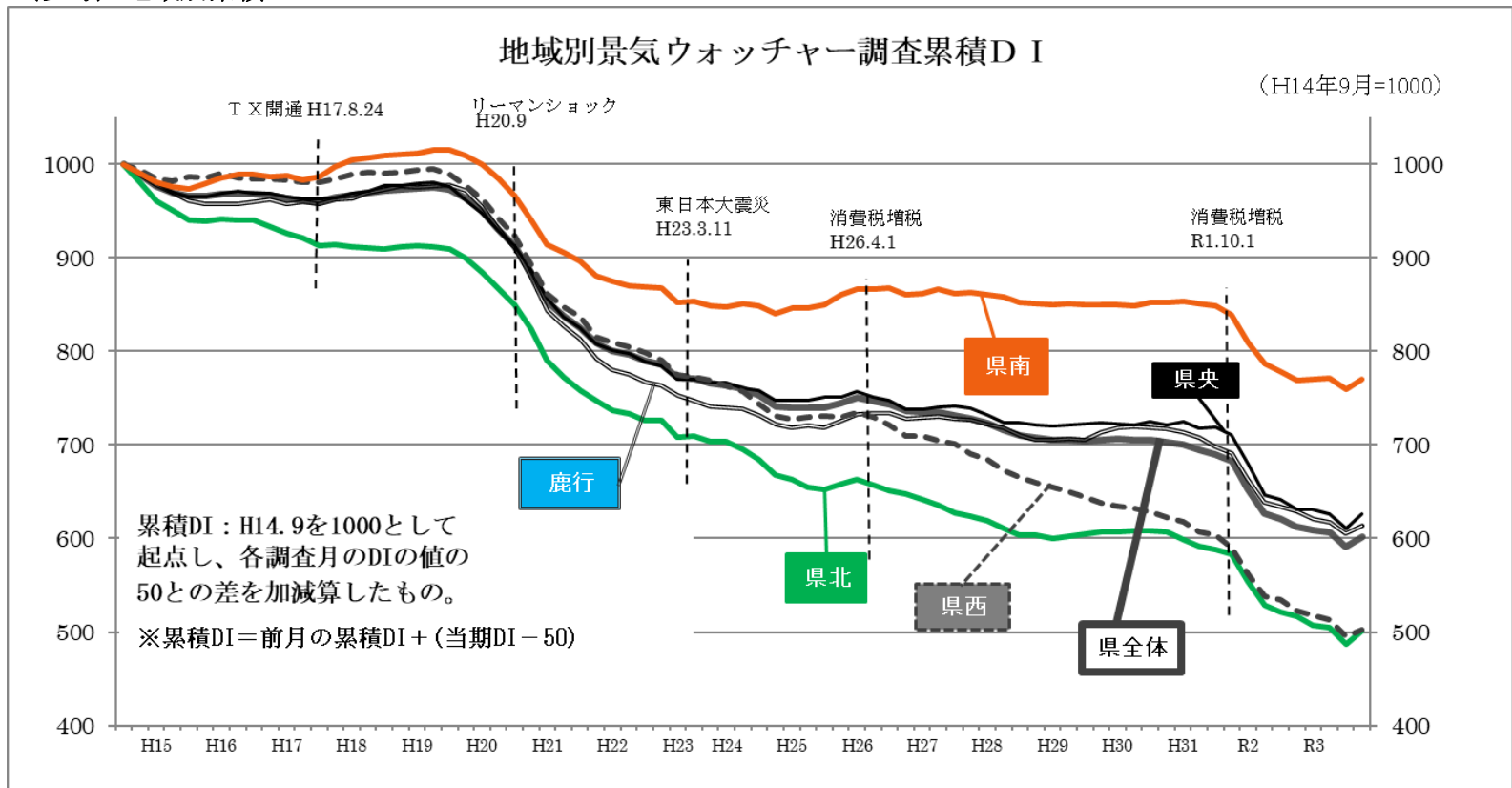
	令和2年 12月	令和3年 3月	令和3年 6月	令和3年 9月	令和3年 12月
良くなっている	0.0%	5.6%	6.9%	5.2%	1.8%
やや良くなっている	13.2%	24.1%	34.5%	17.2%	25.0%
変わらない	45.3%	50.0%	39.7%	53.4%	51.8%
やや悪くなっている	22.6%	7.4%	8.6%	10.3%	14.3%
悪くなっている	18.9%	13.0%	10.3%	13.8%	7.1%

図2-2 地域別先行き判断DIの推移



	H28.12	H29.3	H29.6	H29.9	H29.12	H30.3	H30.6	H30.9	H30.12	H31.3	R1.6	R1.9	R1.12	R2.3	R2.6	R2.9	R2.12	R3.3月	R3.6月	R3.9月	R3.12月
県全体	46.7	50.3	51.7	51.1	51.3	52.4	51.2	50.1	49.5	48.0	47.1	37.2	42.9	23.6	41.5	42.7	38.0	52.7	56.0	51.4	52.2
県北	43.4	48.2	52.1	54.6	51.3	51.8	50.0	50.9	50.0	43.5	47.4	40.8	46.9	23.7	38.1	40.2	36.1	47.4	52.6	50.4	50.0
県央	46.6	56.4	55.1	53.4	50.0	53.8	50.8	53.9	50.8	54.3	49.6	35.3	42.5	24.6	45.5	46.1	39.7	58.6	57.5	51.8	55.3
鹿行	46.9	52.2	50.0	51.7	55.0	56.8	51.3	50.4	48.7	49.1	46.0	34.2	43.1	20.2	37.5	46.1	37.7	53.4	55.2	51.7	50.5
県南	48.8	50.0	54.2	48.2	51.7	53.5	51.3	51.7	47.8	50.0	50.0	38.4	39.4	23.2	42.5	39.5	38.4	53.6	59.9	55.6	55.4
県西	47.8	44.4	47.0	47.5	48.3	46.1	52.6	43.4	50.0	42.9	42.1	37.3	42.7	26.3	44.2	41.7	38.2	50.5	54.7	47.4	50.0
全国	49.8 49.0	49.3 49.0	50.8 51.5	51.0 50.4	51.8 51.3	50.7 50.1	50.5 50.9	51.1 50.7	47.3 47.0	48.9 47.9	46.0 46.3	36.8 36.7	44.6 44.5	19.8 18.7	44.6 44.8	47.1 47.1	36.1 36.1	49.8 48.6	52.4 52.6	56.6 56.7	49.4(季節調整値) 49.5(原数値)

(参考) 地域別累積DI



III 景気の判断コメント — 1 景気の状態判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	観光型ホテル	いば旅あんしん割による宿泊者増加のため、良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	売上げが回復しているため良くなっていると判断した。
		レジャー施設	国や県の要請等で9月30日まで諸施設を休業していた。その反動か、10月から営業を始めると例年以上に利用者及び収入とも大幅に増加しているため、良くなっていると判断した。
		写真店	前年比売上げが向上しているため良くなっていると判断した。
		住宅販売会社	土地の仕入れが出来ているため客の要望に合う物件が多くなったので、良くなっていると判断した。
	企業	林業関係者	丸太、製品等の価格上昇傾向にあり、今後も高値推移する予想のため良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの収束によりやや良くなっていると判断した。
		商店街代表者	取引先からの引き合いが増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		スーパー	スーパーの売上げは前年と同じか少し減少しているが、衣料、旅行業、飲食の売上げは上がっているためやや良くなっていると判断した。
		酒・各種商品小売業	8月、9月は飲食店での酒の提供が終日出来なくなり最悪の2か月だったが、10月より解禁になり売上げも7割位戻ってきたため、やや良くなっていると判断した。しかし、夜中心の店や観光バスでの客が少ないので3割減になっている。
		小売業（弁当・惣菜店）	依然として新型コロナウイルスの影響はあるものの、徐々に人流は出てきたかのように思えるため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	3か月前は得意先の飲食店等が時短営業のためまったくと言っていいほどアルコールの販売がなかったが、10月以後少しずつ良くなってきたため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（水産物）	来店客数が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（時計）	客数が少しずつ増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		日本料理店	ワクチンを接種した人が多くなり、外出する人が増えてきているため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染が抑えられてきて、外へ出かけるようになってきたため、やや良くなっていると判断した。
		観光型ホテル	10月初旬から客が増えだし、11月及び12月はほぼ満室の状況であるため、やや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	現在はオフシーズンではあるが、新型コロナウイルスの落ち着きとともに学校関係の受注が増えてきた。しかし、一般客はまだ様子見の傾向が強い。
		タクシー運転手	飲食店の動きも少しずつ回復してきている。客の動きも少しずつではあるが上向きなため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	夜間の飲食店の客が増えた。忘年会シーズンの活況が出始めた。工場間の移動需要が少し戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		ドライブイン	3か月前と比較すると売上げ伸び率133%、客数伸び率112%であるためやや良くなっていると判断した。しかし、前年同時期と比較すると売上げ、客数ともに伸び率90%にとどまっている。昨年はGo to 景気だったためか。しかし、部門別でみるとレストラン、フードコートは売上げ伸び率が昨対107%、客数は90%で平均単価が上がっている。

やや良くなっている	家計	ゴルフ場	3か月前は会社が大変な話をしていた方が多かったが、12月は経済的に大変な話をしている方が少ないため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	予約進捗状況は順調であり、客単価も上昇傾向にあるためやや良くなっていると判断した。
		ボウリング場	新型コロナウイルスがワクチン接種により落ち着いてきたため、やや良くなっていると判断した。
	企業	水産業界関係者	新型コロナウイルスの感染状況の影響は拭えないが、活気が見られたためやや良くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	株価など一般家庭にはあまり寄与しない面で、景気が回復方向にあると感じるのでやや良くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	3か月前と比較して、売上げがやや増加しているためやや良くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連において受注や引合いが増えてきたため、やや良くなっていると判断した。従業員のみでは納期対応できず、派遣会社を利用することとなった。
		製造業（化学工業）	取引先からのオーダーが増えているため、やや良くなっていると判断した。
		製造業（精密機器）	いろいろな会社から引き合いが増えているため、やや良くなっていると判断した。
		金融業	飲食サービス業は、まだまだ平時まで至らないものの、客数の回復基調が見られる。製造業についても徐々に受注が戻ってきている。建設業については、年度末完工の工事受注が増加しているため、やや良くなっていると判断した。
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスの感染拡大による海外工場の閉鎖により、部品調達ができず製造ラインが停止されていた管内の工場が状況が回復傾向にあるなど、新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除及び感染者の減少により全体的に求人数が増加した。半導体不足による先行き不透明との理由から、自動車関係部品加工等では求人を探る動きもあるが、産業別にみると主として製造業、運輸、郵便業、宿泊、飲食業の求人が増加したため、やや良くなっていると判断した。	
	学校就業関係者	新規学卒者の求人状況が好調であるため、やや良くなっていると判断した。	
家計	スーパー	客の買物の様子が変わらない。	
	衣料品販売店	新型コロナウイルスの影響が依然として客数が増えず、売出しをやっても売れない。	
	自動車販売店	コロナ禍で売上げの減少はあるものの、自動車は生活の足であり必要不可欠であるのでメンテナンスにおいては変わらない。この状況は1年10か月同じである。	
	スナック	店を開けても客が全く来ないので変わらないと判断した。	
	日本料理店	来店して飲食する客数は若干回復傾向だが、テイクアウトや出前が減少し、トータルとしての売上げは前年並みとなり前年比とあまり変わらない。	
	写真店	まだ新型コロナウイルスの影響で、中止・縮小が多いため変わらないと判断した。	
	企業	製造業（食料品）	季節的要因が大きい商品のため、それを除くと変わらないと思う。
製造業（電気機械器具）		現状1年を通して、受注、生産とも同じように推移しているため、変わらないと判断した。	
製造業（一般機械器具）		変わらず忙しい。	
製造業（輸送用機械器具）		前回調査時点と大きく変わらない。米州及び日本の自動車市場は緩やかではあるが回復基調、中国市場は堅調な回復となっている。一方で、マレーシア、ベトナム等における新型コロナウイルス拡大に伴うロックダウンの影響により、グローバルでの半導体供給不足等、搭載製品の売上げ減少リスク継続、予断を許さない状況にあるため、変わらないと判断した。	
運輸業		顧客製品の出荷台数も横ばいで、それほど変わらない状況である。	
不動産業		建設・不動産関係は、個人消費に大きな変化は感じられないため、変わらないと判断した。	
運輸業（精密機器運送）		季節的要因を考慮せずに、昨年比でみると改善傾向がみられないため変わらないと判断した。	
雇用	求人広告	緊急事態宣言等の解除と年末に向けた需要が増えるかと思っていたが、低いまま変わらない。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスが一見落ち着いているように見えるが、先が見通せていないためか、まだまだ手放しで喜べる状況でない。12月に入ったからか、県北地区の企業からの求人数も少なく、求職者の方も減少ぎみであるため変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	仕事上の動向として客数は戻りつつあるが、買う中身や金額、数量は前年と比較しても少なくなっている。必要な物しか購入しない、最低限の購入になっている印象である。景気が良いとは考えにくいいため、やや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	近隣工場の人員カット、ボーナスカット、減給などの話が出ているためやや悪くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	近隣に競合店が出店したため、やや悪くなっていると判断した。
企業	建設業	民間工事の見積り依頼は増えている。しなしながら県北地域の物件は少ない。公共工事も同様なので、やや悪くなっていると判断した。	
	情報通信業（情報サービス業）	依然として半導体不足からくる製品遅れ等により、計画の変更や遅延が発生しているためやや悪くなっていると判断した。	
悪	企業	製造業（食料品）	数量が減っているため悪くなっていると判断した。
		製造業（精密機器）	車関係の仕事が3割位減っている。まだ半導体不足で長引きそうである。その他は増えているが見通しが立たないため、悪くなっていると判断した。

(2) 県央地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良くなっている	家計	割烹料理店	間違いなく客の動きが活発になってきているので、良くなっていると判断した。	
		都市型ホテル	緊急事態宣言解除後、週末を中心とした個人客の利用が増えていることと、団体（法人）の利用も増えてきているため、良くなっていると判断した。	
		観光型ホテル	予約受注が多くなったため良くなっていると判断した。	
		タクシー運転手	現在は、全てにおいて新型コロナウイルスの感染者数に比例して景気の状態が変わってしまう。3か月前と比べて圧倒的に感染者が減っているため、景気は良くなっていると判断した。	
		タクシー会社	水戸駅等での利用者が増加傾向にあり、法人利用も増加している。また、一般の利用者も徐々に増えてきており、平常に戻りつつあるため良くなっていると判断した。	
		レジャー施設	施設の休館後（8月～9月）、10月から営業を再開し、少しずつ利用者が戻っており、特に11月は利用者が前年比6割増と大幅に増加しているため、良くなっていると判断した。	
		スーパー銭湯	11月末締め来館者数は昨対126%、昨昨対85%、客単価は昨対122%、昨昨対116%。また、12月5日（日）までの12月合計で、来館者数は昨対124%、昨昨対95%であり、良くなっていると判断する。（※参考 9月末の来館者数は昨対83%、昨昨対54%）	
		スーパー銭湯	人手不足による営業時間の短縮などがあったため、近隣競合店が閉店した。緊急事態宣言解除後、徐々に人々の行動範囲が広がり県外客も増えたため、良くなっていると判断した。	
	企業	製造業(食料品)	特に外食店向けの受注が明らかに伸びたため、良くなっていると判断した。	
		製造業(精密機械器具)	自社商品、OEM商品共に好調であり、このような傾向は近年なかった事なので少々驚いている。コロナ禍と弊社に関係のある特定業種との関係があるのかも知れないが、良くなっていると判断した。	
	やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの沈静化に伴い、活気が戻ってきたことを実感でき購買意欲も戻ってきていると感じるため、やや良くなっていると判断した。
			小売業	3か月前頃の売上げは前年比90%ぐらいで推移していたが、先月から今月にかけては前年比とほぼ同額で推移しているため、景気はやや良くなっているように思われる。
			小売業	今月は、お歳暮・クリスマス・年末年始商戦の実需月であり、月初より顧客向けの全館催事を立ち上げて対応した。緊急事態宣言解除後、シニア層の来店も徐々に回復、外向きの消費マインドの活性化により、トラベルに絡む衣料品が稼働し始めている。入店客数・売上高も前年推移まで回復してきており、前年比と3か月前(9月)の前年比を比べると、今月の進捗状況が回復してしていることから、景気はやや回復していると判断する。
			小売業	入店客数、売上げ共にプラスになってきている（アイテムによっては苦戦している物もある）。コロナ禍により都内への買物に行きづらくなっている中、ワクチン接種の進み具合や感染者数の減少が近場での消費に繋がっているのではないかと考えている。
割烹料理店			新型コロナウイルスが落ち着いてきて、少しずつだが客の動きが出てきて微小だが売上げが上がってきたためやや良くなっていると判断した。しかし通常の年末年始のような感覚はないので経営は厳しい状態がまだ続くと思う。	
スーパー			新型コロナウイルスの感染者が減って落ち着いているため人の動きが良くなっているため、やや良くなっていると判断した。	
コンビニエンスストア			新型コロナウイルスの状況が緩和されてきており、3か月前と比較し客数の回復が見られるため、やや良くなっていると判断した。	
農産物直売所			駐車場での県外ナンバーが増加した。ギフト商品の宅配以外の持ち帰り数や、飲食店の仕入れの買上げ量が増えたため、やや良くなっていると判断した。	
レストラン			Go To 事業の開始もあり、ホテル利用者も増えるのではないかとと思うので、やや良くなっていると判断した。	
レストラン			緊急事態宣言が明け、客の動きが出てきたため、やや良くなっていると判断した。	
都市型ホテル			忘年会シーズンになり3か月前と比較すると活発化してきているが、通常年平均と比較すると全体的に厳しい状況が続いている。	
旅行代理店			新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言解除後、個人旅行の申込みが増えているため、やや良くなっていると判断した。	
バス運転手			新規感染者の減少、緊急事態宣言解除に伴い、貸切バスの稼働が増え、高速バスの利用客が増えているためやや良くなっていると判断した。	
タクシー会社			運賃収入、営業回数共に増えているため、やや良くなっていると判断した。	
道の駅			新型コロナウイルスが下火になってきて、人の動きが良くなってきているため、やや良くなっていると判断した。しかし、生活用品を始め色々な物が値上げになっていて、買控えや節制が起きていて、激変して良くなっているには程遠い。	
観光名所			3か月前と比較して来場者数・客単価がやや増加しているため、今月の景気はやや良くなっていると思う。	
レジャー施設			9月20日に茨城県独自の非常事態宣言が解除されたことにより、一部ではあるが施設の制限が解除され、施設利用者の数が3か月前と比較して増加してきており、それに伴い給油販売数量も増加したため、やや良くなっていると判断した。	

やや良くなっている	家計	理・美容店	新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後、客が戻りつつあると思うので、やや良くなっていると判断した。
		設計事務所	緊急事態宣言も解除され、全国的に経済活動が段階的に再開されている。街には活気が戻って来ているようなのでやや良くなっていると判断した。
	企業	製造業(食料品)	9月末で非常事態宣言が解除になり、また新型コロナウイルスも減少傾向であり、少しであるが人流も増えて消費も増えつつあるため、やや良くなっていると判断した。
		製造業(金属製品)	原材料の高騰と入手難の影響により極端な安値受注をする会社は見られなくなり、通常よりも先の案件の受注が増えた。需要も確実に回復しつつあり、適正価格までもう一步のところ。
雇用	人材派遣業	受注がかなり増えているため、やや良くなっていると判断した。	
	学校就業関係者	コロナ禍もオミクロン株が報道されてはいるが、日々の陽性者数は確実に減少しており、飲食・観光業界にも活気が戻りつつあると感じているため、やや良くなっていると判断した。	
変わらない	家計	スーパー	買物の購入金額が減っている。高単価な物はなかなか売れない。
		スーパー	10月の新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言解除後、外出緩和により観光客が増えた。商業施設(食品店舗)については、まとめ買いをしなくなった。衣料品、飲食店の売上げが伸びた。
		家電量販店	客は店を中心にほぼ10~15km以内のごく狭い地域の客が大半で、年収も今までと大きく変わることがないように思われるので、新聞、テレビ等で報道されるような変化はないと思う。従って変わらないと思っている。
		自動車販売店	来店客数や客の動向は変化がないので変わらないと判断した。
		レストラン	年末で忙しくなってきたが例年同様、客単価も上がっていないので変わらない。
		観光名所	9から11月の時期だけの営業なので休業状態である。
	企業	製造業(印刷・同関連業)	来年の1月中旬までの仕事をしなければいけないので、毎年この時期は繁忙期となっている。平均すると普段通りである。
		製造業(印刷・同関連業)	3か月前の状況も良くなかったため、その時の状況と変わらない。
		製造業(一般機械器具)	国内では新型コロナウイルスが抑え込まれていて、昼も夜も街に人出が増えた感じを受けるが、仕事量は上がってこないため、変わらないと判断した。
		建設業	微妙な変動はあるが中期的には変化なし。
		運輸業(道路貨物運送業)	半導体不足による部品在庫の保管の問合せが多いが、受注による生産ではなく機械を止められない等の理由で在庫過多となっているため、景気が良くなっているとは感じないため変わらないと判断した。
		金融業	ウィズコロナとして各業種とも創意工夫しながら営業しており、設備資金(店舗の建設等)が方々で見られる。飲食業界はまだ冷え切った感があり、団体での予約はほとんどどないため変わらないと判断した。
	雇用	求人広告	閉店店舗も多くあり、まだまだ回復している実感がないため変わらないと判断した。
求人開拓員		当センターにおける求人数及び利用求職者数に変化が見られない。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	コロナ禍が落ち着き、飲食店への客の流動を感じる。
		楽器販売	9月、10月は回復基調で進行していたが、11月に大失速で、行動が規制されていた中での巣ごもり生活から、解除後の報道などを見ても観光等で外への動きが多かった印象。来店客数も減少。物販業はまだまだ厳しい。
		設計事務所	建設資材の納入状況が悪く、工事を早める傾向より先延ばしの傾向もあり、設計や工事の受注にも影響が出ているため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	不動産業	自粛期間が明けて、人の流れは戻ってきているが、不動産にお金を使うというよりは、今まで制限されていた部分に使っているように見えるため、やや悪くなっていると判断した。
建設業		受注している工事金額が小さい。木材の値上げ、トイレ、給湯器等の納期が長期化していて受注の妨げになっているため、やや悪くなっていると判断した。	
悪	家計	スーパー	緊急事態宣言の解除により外食需要が拡大している。家中商材を扱っているスーパーは売上げがダウンしているため、悪くなっていると判断した。
	企業	製造業(窯業・土石製品)	新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言があけて一時的に受注が少し増加したが、また落ち込んできているため悪くなっていると判断した。



(3) 鹿行地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスの感染者数も少なくなり、地域の方々が動き出しているように思えるため良くなっていると判断した。
		和食レストラン	新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言解除により良くなっていると判断した。
		割烹料理店	緊急事態宣言も解除され、その頃から比べれば良いという位。例年ほどではない。
		日本料理店	コロナ禍による自粛からの利用が増えたため、良くなっていると判断した。
	企業	製造業（鉄鋼業）	経営環境の改善が進んでいるため、良くなっていると判断した。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	3か月前に比べ、週末の人の動きが良くなっており、土日に出かける人が増えていると感じるためやや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	緊急事態宣言解除後客の動きも良くなっているため、やや良くなっていると判断した。
		農産物直売所	人流を肌で感じるため、やや良くなっていると判断した。ただし、まだまだ以前と同じではない。
		小売業（菓子類）	新型コロナウイルスの感染者が減少して人の流れ、動きが増加しているためやや良くなっていると判断した。
		洋食食堂	前年比が70%台から90%台へ改善しつつある。
		観光型ホテル	先月から平日でも満室の日が増え、いば旅あんしん割のおかげもあり売上げが上がったため、3か月前と比較してやや良くなっていると考える。
		運転代行	他の月より利用者が多くなっている。売上げについては3か月前と比較して伸び率がよくなっているため、景気はやや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	緊急事態宣言が解除になってから、小人数の旅行が入ってきたため、やや良くなっていると判断した。
		道の駅	緊急事態宣言解除後、客の利用が増えてきたためやや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	入場者数が増加し、客単価も上がっているためやや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染状況が落ち着き、入館者と売上げを前年と比較すると若干だが回復した。人の動き、消費も増えてきているためやや良くなっていると判断した。
		クリーニング店	新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除になり、人出も少しずつ増えている。今月は年末なので例年通り、地域のポイント5倍デーを実施した。客数、客単が上がり、3か月前(9月)前年比も上がったので少しずつだが景気は良くなっていると判断する。
企業	農業関係者	新型コロナウイルスが沈静化してきており、飲食業も自粛要請も解除になりつつある。野菜類の販売価格も落ち着いてきたためやや良くなっていると判断した。	
	建設業	新型コロナウイルスの感染状況の沈静化から緩やかではあるが、業容が拡大してきている感があるため、やや良くなっていると判断した。	
	建設業	新型コロナウイルスの収束により、規制が緩和され人の流れが出てきたためにサービス業を中心に上向きではあるが、コロナ禍前と比べると減少傾向にある。	
	運輸業（道路貨物運送業）	業績面の推移から、前年対比のアップ率が微増ではあるが上昇傾向にあるため、やや良くなっていると判断した。	
	金融業	新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の解除に伴い抑えられていた個人の消費行動が回復し、小売業や飲食業を中心に客足が伸びていると感じるためやや良くなっていると判断した。	
	サービス業	新型コロナウイルスが一旦終息した状況となり、弊社への訪問客が増えてきている。また、案件の引合も徐々にではあるがコロナ禍前に戻りつつあるため、やや良くなっていると判断した。	
雇用	人材派遣業	大きな動きではないが、問合せ等が増えてきており、景況感としては上向きに感じるためやや良くなっていると判断した。	
	公共職業安定所	製造業を中心に新規求人数は増加しているが宿泊、小売業等の業界の求人は回復していない。求職者については減少傾向であるが、パート在職者のみ増加しているため、やや良くなっていると判断した。	

変わらない	家計	商店街代表者	新型コロナウイルス感染拡大が一時的に全国・県・市内においても減少となり市民活動（家庭内でも）についても徐々に日常に近づいているように感じるが、新たな変異株も確認され、気持ち的に自粛生活からの解放とまではいっていない方が多くみられるため景気は変わらないと判断した。
		家電販売店	新型コロナウイルスは落ち着きを見せているが、オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の影響もあり、以前と比較して好転している様子ではないため、変わらないと判断した。
		農産物直売所	客足は戻ってきたと思うが、新型コロナウイルスの変異株が出てしまったため客数は減ると思うので、変わらないと判断した。
		小売業（薬品店）	前年比の売上げ比、客数ともに同程度のため変わらないと判断した。
		小売業（食品）	新型コロナウイルスによる自粛が解除になっても、いまひとつ戻らないため変わらないと判断した。
		タクシー運転手	以前よりも人が集まってきているが、まだ新型コロナウイルスの影響が大きいと思う。まだまだ時間がかかる。この仕事は歩合制のために客が乗ってくれなければ給与が変動する。景気に関係なく安定した給料がもらえたらいいのだが、将来的に考えるべき問題である。
		住宅販売会社	変わった様子がない。
企業	製造業（化学工業）	生産状況は3か月前と比べ今月も大きな増減がないことから、景気は横ばい状態が続き、変わらないと判断した。	
	製造業（金属製品）	受注しているカーメーカー他、受注量が安定しているため変わらないと判断した。	
	保険業	交通事故件数は減少しているが、契約件数は減少していない。収入にも変化がない。	
	不動産業	3か月前とほとんど変わらないが新型コロナウイルスは少しどころかだいぶ収束してきている。居酒屋等も一時よりだいぶ客がいるような感じがする。しかし、景気は良くなっていないので変わらないと判断した。	
雇用	学校就業関係者	世界的な新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、生産調整等発生しており、良くなっているとは言えないため変わらないと判断した。	
	求人開拓員	自分を取り巻く各種中小企業の事業所は、先月実施した面接会において、担当者の方々が声を揃えて「求人の数は増えているが応募者の数が依然と変わりないか、少なくなっている」とのこと。また、求職者の方にも問合せみると「景気は拡大している」と報道がなされているが、実際の所得が増えなければ拡大と言わないのではないかと多くの声が多聞かれた。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	客数が減っているためやや悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	3か月前に比べコロナ禍は少し落ち着いてきたようだが、一般の客はまだ購買意欲がない様子（余計なものを買わない）のためやや悪くなっていると判断した。
		小売業（薬品店）	処方元クリニックの外来患者が減ってきているため、やや悪くなっていると判断した。
		住宅販売会社	住宅リフォーム会社なので、新規問合せがほとんどない状況のため、やや悪くなっていると判断した。
	企業	製造業（精密機械器具）	売上げの伸びが低下しているため、景気はやや悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	県下でも新型コロナウイルスの感染者数がゼロという日が続いていたが、新変異種オミクロン株の国内確認により、また客数が減っているように思えるためやや悪くなっていると判断した。
悪くなっている	家計	スーパー	10月より緊急事態宣言が解除され、巣ごもり需要による特需が著しく低下したことが大きな要因である。収益面では加工食品や日配の簡便調理（レンジアップや冷凍食品、食パン、菓子パン等）、非食品の衛生商材（マスク、アルコールスプレー等）の落ち込みが著しく、直近の日商ベースによる比較では3か月前対比で約92%という結果となったため、悪くなっていると判断した。
		小売業（書店）	新型コロナウイルスの影響もあるが、来店数が減少したため悪くなっていると判断した。
		製造業（食料品）	諸外国との比較では我が国の新型コロナウイルスの感染者数減少が際立っているが、オミクロン株の感染が拡大しつつあり、巣ごもり需要の減少と共に販売低迷が続いているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（電気機械器具）	主たる取引先の自動車部分品において生産調整が続いているため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（ゴム製品）	客先からのオーダーが減少しているため、やや悪くなっていると判断した。
		運輸業（道路貨物運送業）	仕事面では忙しくなっているが、燃料が高騰しているため売上げが上がらず、やや悪くなっていると判断した。

(4) 県南地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	コンビニエンスストア	明らかに週末に外出する人が増えたことと、平日朝と夕方の渋滞を鑑みて良くなっていると判断した。
		小売業	新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いており、明らかに客の来館数や売上げが上向いている。全体の実績も前年を大幅に上回り、一昨年2019年の状況に近づいているため良くなっていると判断した。
		和食食堂	新型コロナウイルスが落ち着き始め、緊急事態宣言も解除されたことでアルコールの売上げも多少戻ってきた。また、一組あたりの人数も増えたように思うので、景気は良くなっていると判断した。
		洋食食堂	季節的な要因もあるが、8月9月の予約のキャンセルが11月12月に流れてきている。家族のイベントでの予約が多く、少ない人数でも客単価は高いのでランチでたくさん提供するより効率が良く、景気は良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	今月は忘年会の時期であったので3か月前との比較では良くなっている。しかし、まだまだ客単価の良い宴会やディナーの利用は少なく、新型コロナウイルスの影響がまだあることを実感している。ニュースなどでは人が動いているようだが、地方はまだである。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの感染者数が少なくなり、緊急事態宣言解除後は少しずつ客足が戻って来たので、売上額も少しずつ回復しつつあるため良くなっていると判断した。何と言っても新型コロナウイルス次第という感じだ。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの収束が要因かと思われるが、10月半ばから客の動きが多くみられるため良くなっていると判断した。
		タクシー会社	タクシーの問合せや乗る人が倍以上に増えたため、良くなっていると判断した。
		サービスエリア	新型コロナウイルスの緊急事態宣言及び茨城県独自の時短要請が解除となり、これまで自粛傾向であった観光利用の客が、10月、11月に集中的に立ち寄られている。団体でのバス利用も以前よりは見かけられ、旅行客、学校行事での利用等によるエリア利用が目立っていたため、良くなっていると判断した。
		レジャー施設	緊急事態宣言の解除により、人の交流の活発化を感じているため良くなっていると判断した。
企業	製造業（その他）	受注件数が増加したため良くなっていると判断した。	
	運輸業（倉庫業）	貨物の動きが良くなっているため良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	家電販売店	客数も少しずつ増えてきており買上げ点数もあわせて増えてきている。ただ、実績的には予想を下回っている。
		家電販売店	コロナ禍の中ではあるが店内の様子など、にわかではあるが活気が出てきているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（生花店）	小規模ではあるが、結婚披露宴が戻りつつあるためやや良くなっていると判断した。
		小売業（米穀）	人の動きは確実に増えているのでやや良くなっていると判断した。
		寿司店	時短営業や酒類の提供が解除され、客も売上げも少し戻ってきたため、やや良くなっていると判断した。
		都市型ホテル	宿泊の稼働率も徐々に伸びてきて、レストラン・宴会予約・婚礼新規来館も増えてきた。このままの状態が続けば売上げ増も見込める。このことから景気はやや良くなっていると思われる。
		タクシー運転手	昨年の同月とまた今年の9月と比べると売上げが増えているため、やや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	接待やコンペの開催が多くなりビジターの利用者が増加傾向にある。3か月前よりはレストラン等の使用金額が上昇しているためやや良くなっていると判断した。
		ボウリング場	新型コロナウイルスがだいぶ落ち着いてきているので、人の動きが活発になっているため、やや良くなっていると判断した。
	企業	製造業（食料品）	来客数は変わらない。業者からの注文頻度と注文数が増えた。インターネット注文は増加傾向にある。同業者が廃業したからなのか遠方（高速道路を使用して約1時間程度）からの問合せや納品が増えた。配送経費（ガソリンの価格上昇・高止まり）も増えた。全体で見ると収入増になるようなので、やや良くなっていると判断する。
建設業		毎月少人数で細々とやっているが、先月・今月と後期高齢者になった職人に応援を依頼して工事を行っている。それでも年末ぎりぎりまで工事をしなければならぬ。3か月前と比較すると景気はやや良くなっていると判断する。	
金融業		新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言解除に伴い経済活動が活性化しており、個人消費も堅調である。また、新型コロナウイルス感染状況が落ち着いており、3か月前と比較しやや良くなっている。	
雇用	民間職業紹介業	製造業の生産量増加によりやや良くなっていると判断した。	
	求人広告	休日のショッピングモールの混雑度や、道路の混雑状況を見ていると、景気は良くなっていると感じるためやや良くなっていると判断した。ガソリンの高騰や一部食料品の値上げなどのマイナス要因があっても、感染症が収束の兆しを見せているので以前と同じ生活を取り戻すための動きをしている人が多いのかもしれない。	
	公共職業安定所	製造業からの求人が好調であり、有効求人倍率も微増しているため、やや良くなっていると判断した。	
	求人開拓員	企業からの求人掲載依頼における求人数が、3か月前に比べて増加傾向にあることから、景気はやや良くなっていると判断する。	

変わらない	家計	スーパー	客数、客単価ともに変化はない。
		コンビニエンスストア	客数、売上げにおいて横ばいで推移している状況のため、変わらないと判断した。
		農産物直売所	客数も一定しているし、売上げも横ばいである。しかし、イベント等をしたので客は若干増えている。
		衣料品販売店	来店数、売上高などがほとんど変わらない。とにかく新型コロナウイルスの影響が大きいと判断した。
		ゴルフ場	ゴルフ場は、オン、オフとシーズンによるものがあるが、それを除くと現在の来場者はそれほど変わらないと思っている。平日も1年前に比べ来場者は増えている。ゴルフは新型コロナウイルスに関して比較的安全という認識があると思われる。
		テーマパーク職員	前年の同月と比較して、それほど来場者が伸びていない。3か月前を前年と比較すると今年のほうが来場者が多かった。またコロナ渦としては、感染状況が落ち着き始めると来場者が増える傾向があったが、現在それほどの影響は感じられない。しかしながら、年末年始の観光や外出を少し前倒しでという考えの方が多く、1週間単位で見ると景気がいい期間もあるように感じられる。
		理・美容店	世の中が変わっていないので変わらないと判断した。
	企業	農業関係者	12月期（初旬まで）の乗客数・客単価を今年9月期と比較すると両者とも若干の減少傾向。これは毎年の傾向である。前年同期と比較すると、ほぼ変わりはない。
		製造業（窯業・土石製品）	変化が感じられない。
		製造業（食料品）	客数・客単価共に変わらない。
		製造業（窯業・土石製品）	原材料高など原価が上昇する要因が現れてきたため変わらないと判断した。（変わらないとやや悪い間のイメージ。）
		製造業（窯業・土石製品）	前年と比較してさほど変わらない。
		製造業（非鉄金属）	コロナ禍の二次的影響である半導体や部品供給不足により9月・10月は減産。11月・12月は底は脱した感はあるが、低迷が続いているため変わらないと判断した。
製造業（一般機械器具） 不動産業		特に変化はなかった。 新型コロナウイルスの影響も落ち着いているため変わらないと判断した。	
雇用	学校就業関係者	業務の関係から、求人数での判断となるが、3か月前と比較して変わらず求人が来ているため変わらないと判断した。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	売上げ、客数とも前年を下回っている。競合他社の影響もあるが、特別安売りをしても売上げが上がるようになっていないため、やや悪くなっていると判断した。
		その他	物価の上昇による、購買意欲の減退によりやや悪くなっていると判断した。
	企業	農業関係者	離職者が増えているように思われるため、やや悪くなっていると判断した。
		製造業（印刷・同関連業）	受注件数や数量の減少によりやや悪くなっていると判断した。
		不動産業	主に賃貸管理業務のインターネットでの問い合わせ、来店客ともに減っている。12月ということもあるがそれでも少なすぎるため、やや悪くなっていると判断した。
建設業	資材の値上がり及び品物が無い状態。注文を受けても品物納期未定のため仕事にならない。また注文を受けても納期確認で納入日決まらず入荷待ちの状態が続いているため、やや悪くなっていると判断した。		
悪	家計	スーパー	コロナ特需も落ち着き、前年と比較すると買上げ点数の前年割れが見受けられるため、悪くなっていると判断した。
		スーパー	物価が上がっているため悪くなっていると判断した。
		和食食堂	新型コロナウイルスの影響により、悪くなっていると判断した。
		日本料理店	前年比より売上げが伸びないため、悪くなっていると判断した。

(5) 県西地域 【現状】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	レストラン	緊急事態宣言が解除されて人の動きが活発になり、12月のこともありランチは客がたくさん入っている。しかし、夜は6人以上のグループでの利用はなく、4人位の家族やグループの食事会くらいである。オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）もあり、皆、警戒している。中規模のグループの食事会はまだ先のようなのである。クリスマスの24日、25日は例年通り予約で埋まりそうなので売上げが見込める。
		和食レストラン	非常事態宣言が解除になり客が動き出したため、良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	客数が増えているため良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	ゴルフ場という特性上、オンシーズンとなり来場数が伸びているため、良くなっていると感じる。また、来場客は以前より新型コロナウイルスへの警戒感が薄れているように感じる。
	レジャー施設	来園者数も増え、売上げについてもほぼ戻りつつあるため、良くなっていると判断した。	
雇用	求人開拓員	新型コロナウイルスの感染者数の減少傾向が続いている状況の中、多くの業種で求人が増加している状況が見られ、当センターに直接求人登録を申し出る企業も出ているため、良くなっていると判断した。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	新型コロナウイルス感染者の劇的減少。緊張感が緩んだので外出者が増えたため、やや良くなっていると判断した。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの感染者数の減少により、週末を中心に行楽や買物での人の動きが活発化している。その影響として小売業においては土日の売上げが上昇傾向にあると感じるためやや良くなっていると判断した。
		家電販売店	9月から11月は前年の客数と比較すると増加しているため、やや良くなっていると判断した。
		メガネ・時計販売店	新型コロナウイルスが3か月前よりは比較的まだ落ち着いているので、客が来店してくれて以前より単価が高いものが売れているため、やや良くなっていると判断した。
		小売業（酒類）	緊急事態宣言下で飲食店を始めとして、人の動きがまったく止まり経済も止まってしまった9月までに比べると、人も物も動くようになったと感じるためやや良くなっていると判断した。
		日本料理店	10月より緊急事態宣言が解除され、少しずつ客が来店するようになった。土曜・日曜日は昨年の7～8割程度、平日にいたっては4～5割というところだと思う。
		食堂	予約客が多くなってきたため、やや良くなっていると判断した。
		旅行会社	コロナ禍にも慣れてきたようで、2年前の頃に少し戻ってきたような気がするためやや良くなっていると判断した。
		旅行代理店	コロナ禍の影響が長引く中、客はこの季節だから出かけなくては行く機会がないと言って久しぶりに参加をしていただいた。3密にならないよう、また手洗い、除菌、マスクの着用を徹底し、少しずつ日帰り旅行を実施できれば良いと思う。
		道の駅	観光客の動向が改善され、夕方以降の来店客数が増加してきたためやや良くなっていると判断した。
		ゴルフ場	一般ゲストの来場単価が上がっている。料金自体の値上げもしているが、例年以上の予約が獲得できている。また、会員権販売も好調のため、やや良くなっていると判断した。
		レジャー施設	ギフトで何か送ったり、自身用であったりと、高価格帯の商品（1万円以上）の動きが良くなってきていると感じるため、やや良くなっていると判断した。
	理・美容店	新型コロナウイルスが落ち着いてきた事が大きいので、やや良くなっていると判断した。	
	企業	製造業（金属製品）	仕事量が増えてきたためやや良くなっていると判断した。
		建設業	公共工事の発注や民間の工事も出てきているので、やや良くなっていると判断した。
不動産業		売買で高額物件が制約しているため、やや良くなっていると判断した。	
雇用	人材派遣業	人材募集が多くなったのでやや良くなっていると判断した。	
	人材派遣業	半導体不足の影響で、自動車・自動車部品・家電などで一部生産が落ちているが、全体で見れば派遣の依頼件数が昨年と比較して増えているため、やや良くなっていると判断した。	

変わらない	家計	コンビニエンスストア	良くなってくると悪くなってくるので、変わらないと判断した。
		自動車販売店	新型コロナウイルスが少し落ち着いては来たものの、燃料などの高騰や新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株などの不安から買控え感があるように感じるため、変わらないと判断した。
		農産物直売所	緊急事態宣言が解除され、徐々に人の流れは回復傾向にあるが、青果物の単価が相変わらず低調なため変わらないと判断した。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの影響により変わらないと判断した。
		道の駅	緊急事態宣言が解除になり、来客者人数は増えてきているが、買い渋りにより客単価が上がらない。未だに観光バスなどの来店が少ないため変わらないと判断した。
		商店街代表者	新型コロナウイルスの感染者数がワクチン接種者数の増加によって、こここのところ低位で推移しており、また、緊急事態宣言も解除されてから3か月になろうとしている。飲食店等は、夜間の営業も再開されて持ち直しつつある。しかし、一部の業種では、コロナ禍により、外出自粛が長く続いたことや消費行動の変化によりバラつきが見られ、全体としては横ばいのようなので変わらないと判断した。
		設計事務所	物がなく滞っている感じなので変わらないだろう。
	企業	畜産関係者	特に変化はない。
		製造業（窯業・土石製品）	3か月前から受注数が高止まりしている状況が続いているため、変わらないと判断した。
		製造業（電気機械器具）	材料の値上がりと入手性、リードタイムが依然として不透明で状況は変わっていないと判断した。
製造業（印刷・同関連業）		新型コロナウイルスの影響で受注が低調。回復の兆しも見えないため変わらないと判断した。	
製造業（化学工業）		パソコン、スマホ、IT通信インフラの需要好調が継続し、電子材料製品の受注好調により変わらないと判断した。	
製造業（窯業・土石製品）		想定より受注が多い。しかし、目標金額を達成することは残念ながら無理だと思う。思った以上に良い理由は、コロナ禍の余波が当社の競争相手の中国の石材加工場の減産や海運物流の高騰によるもの。日本の加工メーカーが納期面、価格面で優位に立てたためだと思う。	
製造業（電気機械器具）		一部の部署で受注増による人員要請（増員要請）を継続している状況のため変わらないと判断した。	
建設業		特に変化を感じない。	
金融業		新型コロナウイルスの影響が飲食店で減少しているものの、ウッドショックの影響が建設業にあり、全体としては景気は変わらない状況にある。	
サービス業（コンサルタント業）		夜の人出や店の来客数等変化がないため、変わらないと判断した。	
雇用	求人広告	人材には困っているが、募集する余裕がない等の声が未だ多い。客入りも不透明で従業員のシフトを確保出来るか分からないとよく聞くため、変わらないと判断した。	
	学校就業関係者	昨年度と同様、求人受付企業数、就職内定率が変わらない。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	一旦は回復傾向にあったが、新型コロナウイルスの新しい変異株の報道以降、過敏に反応している傾向が強くなってきたように思うので、やや悪くなっていると判断した。
		スーパー	客の節約志向が客単価減少に反映されてきたため、やや悪くなっていると判断した。
		設計事務所	新型コロナウイルスの影響で資材調達に影響があり、発注者が動向静観になっているためやや悪くなっていると判断した。
企業	農業関係者	青果物の販売関係において、コロナ禍で外食需要が減少し、野菜価格が安値で推移しているためやや悪くなっていると判断した。	
	製造業（非鉄金属）	半導体の影響で弊社の販売先が生産減になり、中国のCO2削減対策により原料が高騰し、中国の工場が電力不足によりストップしていることなどから、やや悪くなっていると判断した。	
悪くなっている	家計	商店街代表者	オミクロン株などという変異株もあるコロナ禍で、皆、出かける様子がない。田舎の人ほど用心するため、悪くなっていると判断した。
		衣料品販売店	学生衣料が中心のため、イベントの中止や延期等で来客がないので悪くなっていると判断した。
		製茶販売	出歩くのを我慢しているのではなくて、出歩けなくなった。収入減のため客が動かないからお茶も飲まなくなったため、悪くなっていると判断した。
		観光型ホテル	いろいろなものが一時的に緩和され解除されても、客層は高齢者が主体で団体での活動はされない。市役所などでも活動費なるものを配布する際、団体での観劇などは止めているようだ。老人会はまだ解禁になっていないから動かないだろうという話を聞いた。
		クリーニング店	石油（原油）の値上がりで家計を圧迫していると聞くことが多いので、悪くなっていると判断した。

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	タクシー運転手	客とのやりとりで、新型コロナウイルスの話題が少なくなっているように感じるため、良くなっていると判断する。
		ボウリング場	新型コロナウイルスがワクチンにより落ち着いてきたため、やや良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	成人式などのイベントが再開しつつあるためやや良くなっていると判断する。
		商店街代表者	受注している物件がある程度確保されているため、やや良くなっていると判断する。
		スーパー	年末の帰省客は増加予想のため、昨年よりは年末年始の商材は動く予想。全体的にはかなりの上昇が見られると思うので、やや良くなっていると判断する。
		小売業（時計）	新型コロナウイルスの変異株であるデルタ株の感染者の激減による安心感があり、客数が増加方向へ行くと思われるが、オミクロン株の動向には少なからず不安が残る。
		日本料理店	外出する人も多くなり、経済は回ってきている状況ではあるが、第6波が懸念されておりどうなるか分からないのが現状でもある。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いてきたことにより、旅行や宴会を控えていた人々が旅行に出かけたり、忘年会や歓送迎会などの会食の場を多く設けることが予想されるため、やや良くなっていると判断した。
		タクシー運転手	タクシーの利用率や客単価も若干上向き傾向にあるので、多少景気も良くなるのではないかと考える。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染状況次第だが、現状では楽観的な状況。外出、旅行などの需要が高まっているため、やや良くなっていると判断する。
		ドライブイン	今現在、人や物の動きが出ているので期待したい。
		ゴルフ場	予約進捗状況は順調であるため、やや良くなっていると判断する。
	写真店	復調しているがオミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）により、先行き不透明になったためやや良くなっていると判断する。	
	企業	林業関係者	未だに品不足は否めない。労働力の減少に伴い全体生産量の低下による競争力は増加すると予想する。
		製造業（電気機械器具）	現在と比較して、売上げの増加が見込まれるためやや良くなっていると判断する。
		製造業（電気機械器具）	液晶・半導体製造装置関連において受注や引合いが増える状況は、当面続く見込みのため、やや良くなっていると判断する。
製造業（化学工業）		新規案件が見込まれるようになったため、やや良くなっていると判断する。	
金融業	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の拡大に左右されるものの、消費マインドの上昇を予想し、人材確保や仕入拡大を計画している客が多いことから、やや良くなっているものと判断する。		
雇用	学校就業関係者	製造業の業績が好調であるため、やや良くなっていると判断する。	
変わらない	家計	スーパー	食品の購入を渋っている中、景気が良くなる要素もないため3か月先も現状と同じと考え、悪い状況が変わらないと判断する。年末年始の帰省がどう変化するのかによっても状況は変わってくると考える。
		スーパー	特に何も変わらないと思う。
		衣料品販売店	少しずつ客数が増えると思われるが変わらないと判断する。
		小売業（弁当・惣菜店）	徐々に回復は見られるものの、まだまだ一部のような感じである。特に多くの飲食店ではまだ苦しいとの声をよく聞くので変わらないと判断する。
		小売業（酒類）	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の影響が少しずつ出てきている。少しでも良くなるように願っているが不安である。
		小売業（水産物）	新型コロナウイルスの影響で、良くなるには時間がかかる気がするため変わらないと判断する。
		スナック	オミクロン株の影響が考えられるので変わらないと判断する。
		観光型ホテル	新型コロナウイルス次第だと思う。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの感染状況によるが、現状は落ち着いているものの、第6波への警戒から団体旅行の受注はまだ弱いため、変わらないと判断する。
		写真店	良くなる要素がないため変わらないと判断する。
	住宅販売会社	建築の方でまだウッドショックの影響があるため変わらないと判断する。	
	企業	製造業（電気機械器具）	脱炭素の影響で火力事業は縮小しているので変わらないと判断する。
		製造業（一般機械器具）	新型コロナウイルスの感染状況によりどうなるか不透明なため、変わらないと判断する。
		製造業（輸送用機械器具）	前回調査時点（9月）と大きく変わらない。半導体供給不足継続により国内自動車メーカーの生産停止、北米での売上げ減少のリスク継続。更に半導体の値上げ、材料市況の高騰、高値継続が予測され依然として厳しい状況にあり、売上げ並びに業績悪化の懸念継続のため、変わらないと判断する。
製造業（精密機器）		150%でも200%でも、ある一定量以上の仕事が入ってくると、社内でできる仕事量に変化はなくなるため変わらないと判断する。	
運輸業		3か月先も今と変わらない状況だと思われる。	
運輸業（精密機器運送）		今後、3か月先くらいでは景気が改善する要因が見当たらない。燃料価格も高止まりしていて、利益に大きく影響しているため変わらないと判断する。	
雇用	公共職業安定所	自動車関係部品加工製造業など求人を探える事業所もあるが、全体をみると回復傾向にあると思われる。しかし、海外で新型コロナウイルスの感染も再拡大していることから注視していく必要があるため、変わらないと判断する。	
	求人开拓員	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の発生等、新型コロナウイルスの感染状況の終息が見えない。よって、今後3か月先もそう変わっていないと判断する。	

やや悪くなっている	家計	酒・各種商品小売業	新型コロナウイルスの新しい変異株の感染者が増え、飲食の制限があるかもしれないので、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	近隣工場の人員の削減が始まっているため、やや悪くなっていると判断する。
		自動車販売店	例年、今後の3か月は繁忙期になるが、新型コロナウイルスの新たな変異株のまん延、県北地区の人口減少、若年層の県外流出により年々売上げが減少傾向にあるため、やや悪くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	世間全体的に不景気。金は天下の回りものとして使っているが、不安で貯蓄に回す人もいるためやや悪くなっていると判断する。
		日本料理店	今月から油や小麦粉といった原材料が軒並み値上がりし利益率が低下すると予想される。また、ガソリン価格もこのまま高止まりすると、出前分の利益に大きく響いてくると思われるのでやや悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	いば旅あんしん割の反動により、やや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（食料品）	来年から商品の値上げをするため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（電気機械器具）	材料の高騰と入手困難が続き、生産と利益確保に影響が出るため、やや悪くなっていると判断する。
		建設業	県北地域は、工事量が少ないうえ建設コストはほぼ全般的に上昇しているため、厳しい局面にある。この傾向はしばらく続くと思われることから、やや悪くなっていると判断する。
		不動産業	石油・半導体・木材、その他原材料費が軒並み高騰しており、特に建築系の製造コストは大きく跳ね上がっている。当社も12月より戸建商品を1棟につき200万値上げし対応するが、個人消費への影響は避けられない。個人所得も欧米のように上がっていないため、これから高額商品はますます買われなくなっていくと思うので、やや悪くなっていると判断する。
雇用	求人広告	短期間での緩和ではなく先行きが明確にならないと、渋り・様子見が多く、どうにもならないため、やや悪くなっていると判断する。	
悪くなっている	家計	レジャー施設	季節的要因になるが寒い時期は客足が伸び悩む。また、寒くて乾燥する時期なのでウイルスの活動が活発になり、新型コロナウイルスも猛威をふるい第6波が懸念され、再び諸施設が休業となり経済活動がストップしてしまうことが予想されるため、悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の拡大により、悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（食料品）	資材、原料、エネルギーの価格上昇により悪くなっていると判断する。
		製造業（精密機器）	まだまだ車関係の見通しが立たないので、悪くなっていると判断する。
	情報通信業（情報サービス業）	まだ製品供給等が改善されないという見方が多いため、悪くなっていると判断する。	



(2) 県央地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	スーパー	今が売上げダウンのピークで、3か月後は少し回復していると思われるため良くなっていると判断する。
		タクシー会社	昨今の市場動向から企業の動きが活発化しており、県外からの旅行者等も増加傾向にある。この流れは止まることはないものと判断している。2019年の平常月と比較して80%~90%まで戻り、取組次第では100%を超える勢いがあるものと思うので良くなっていると判断する。
		スーパー銭湯	12月時点で来館者数(客数)は上昇傾向であり、今後新型コロナウイルスの第6波、オミクロン株の感染拡大を強く抑止できれば2019年実績まで回復すると思う。特に、客の利用世代は20代、30代の年齢層が伸びていること、遠距離(他県、広域)からの客も増えており、さらに動向が活発化してくると思うので良くなっていると判断する。
		スーパー銭湯	警戒していた人々が、新型コロナウイルスの感染の落ち着きにより行動し始める人が日々増えているため、良くなっていると判断する。
	企業	製造業(金属製品)	見積り件数の増加や協力依頼の増加から、需要が確実に回復していることが肌で感じられる。工場などの設備投資関連の案件も出始め、今後の動向に期待できる。また、原材料の入手難の影響で価格よりも納期優先の動きも見え始めた。
雇用	学校就業関係者	新型コロナウイルスのワクチン接種率は既に日本全人口の8割に達しており、オミクロン株の報道はあるものの、日々の陽性者数、重症者数は確実に減少している。さらに3回目接種も医療従事者から始まっており、行動制限も緩和されている。低迷していた飲食・観光業界の需要は平常時までは無理としても、確実に増加すると感じているため良くなっていると判断する。	
やや良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスに関して、オミクロン株などの新種が出てきているため今後の先行きは不透明な部分が多いが、とりあえず感染者数はしばらく抑えられており当店の来店者数も増えてきているため、今後もしばらくは少しずつ景気が良くなるのではないかとと思われる。
		小売業	3か月先の3月は、卒業・入学・新社会人等新生活に向けた準備・春のモチベーション需要が高まり、ギフト・自家需ともにプロパー商材が稼働する売上確保月である。新型コロナウイルス新種株の感染状況により状況は変化するが、行政施策の再開による消費マインドの改善が期待され、来店客数増に繋がると想定されることから、やや良くなっていると判断する。
		スーパー	新型コロナウイルスの状況にもよると思うが外出が増え、外食産業が伸びてくると景気は良くなると思われる。ただ収入が増えるという話は聞かないので、さほど良くなるとは思わない。
		農産物直売所	買物ツアーのバスの予約が入り始めている。県外の個人客も増加傾向にあるため、やや良くなっていると判断する。
		楽器販売	観光等の景気が回復すれば、巡り巡って物販にも流れが来るのではと期待値を込めて、やや良くなるかと判断する。
		旅行代理店	新型コロナウイルスの状況次第だが、感染拡大を抑えられれば良くなっていくと思う。
		タクシー運転手	オミクロン株(新型コロナウイルスの変異株)次第だが、間違いなく景気は上向いてくれると思うので、やや良くなっていると判断する。
		道の駅	このまま新型コロナウイルスが下火になってくれれば、消費は上向くと考えられ経済が回り出すと思うのでやや良くなっていると判断する。しかし新型コロナウイルスのリスクはついてまわる。
		理・美容店	希望を込めてやや良くなっていると判断する。オミクロン株(新型コロナウイルスの変異株)も心配だ。
	設計事務所	新型コロナウイルスのワクチン接種により感染の再流行は回避され、ますます経済活動が再開していく傾向と思われるため、やや良くなっていると判断する。	
	企業	製造業(食料品)	人流も増えつつあり、2月ごろからGo To キャンペーンが実行になれば3か月先は改善されると考えられるため、やや良くなっていると判断する。
		製造業(精密機械器具)	この好調な傾向は暫く継続すると思われる。研究開発、品質管理は好調企業の両輪であり、これらに関係する弊社の商品は好調を維持すると思うのでやや良くなっていると判断する。
		建設業	変化の中に上向きが感じられる。
金融業		第6波の懸念はあるものの、ワクチン接種や感染防止対策も浸透しており、その効果が出ているためやや良くなっていると判断する。	
不動産業		これから3か月は引越シーズンとなり、例年通りでいけば不動産に目が行きがちな時期となる。新型コロナウイルスがこのまま収束してくれれば今まで以上に動きが活発になると予想されるので、少し良くなると思う。	
工務店		人の流れが良くなるような気がするため、やや良くなっていると判断する。	

変わらない	家計	割烹料理店	まだまだ新型コロナウイルスの終息には程遠い状態なので経営環境は油断できない。また、新型コロナウイルスの治療薬が開発されるまでは、このままの状態だと思われるため変わらないと判断する。	
		スーパー	新型コロナウイルスの感染者が増加しなければ落ち着いた消費が続くと思うが、オミクロン株で第6波が来ると大きく崩れると思う。	
		コンビニエンスストア	客の動向は新型コロナウイルスを通じて、新しい常識へ変化。完全に収束しない限り現行の景気に変化はないと考えるため変わらないと判断する。	
		自動車販売店	悪くなる材料、良くなる材料や兆候が見られないため変化はないと思われる。	
		レストラン	新型コロナウイルスの変異株の影響がどうなるのかが不安なので変わらないと判断する。	
		レストラン	新型コロナウイルス次第だが悪くなる可能性もある。	
		都市型ホテル	ウィズコロナ禍の特徴として、個人需要の回復は感じるが、法人客の利用が若干鈍い。クラスターなどの懸念から、なかなか忘新年会を含む懇親会の利用が少ないため変わらないと判断する。	
		観光型ホテル	現在、例年近くの集客があり、3か月先も同様の推移と考えているため変わらないと判断する。	
		バス運転手	一定程度新型コロナウイルスのワクチンの接種が進んでいるものの、新たな変異株の出現と今後の蔓延状況次第で変わってくると思うので、変わらないと判断する。	
		タクシー会社	新型コロナウイルスの変異株やインフルエンザへの警戒心が高齢者の外出等に影響すると思われるので、横ばい状態になるのではと考えるため、変わらないと判断する。	
		観光名所	春先の予約が少ない。今の状況のまま3か月先の景気は変わらないと思う。	
		設計事務所	現在の建設資材の品薄状態等が、早急に改善する気配がないため変わらないと判断する。	
企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの脅威がまだまだ感じられるので、変わらないのではないかと考える。		
	製造業（一般機械器具）	半導体不足や部品不足での自動車減産の影響が続いているため、変わらないと判断する。		
雇用	人材派遣業	今の受注がかなり増えている状況が続くと予想されるため、変わらないと判断する。		
	求人広告	新型コロナウイルスの終息宣言が出ないかぎり難しいと思うので変わらないと判断する。		
	求人開拓員	新型コロナウイルスの動向について、ここ直近の新規感染者の減少とオミクロン株の感染拡大懸念の相反する大きな二つの要素が存在し、先行きが全く不透明な状況である。新型コロナウイルスの感染者の動向次第で景気は大きく左右されると考えられるが減少または拡大のトレンドが短期間で明確になることは考えにくく、減少と拡大の波の幅の中で動くものと思われる。		
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	ほとんどの仕入先より、値上げの通達が来ておりインフレの恐れが大きい。せっかく購買意欲が戻ってきているが、足踏みしてしまうのではないかと危惧されるため、やや悪くなっていると判断する。	
		小売業	新型コロナウイルスの感染者がこのまま減少していけば、都内へ買物に行く方が増加すると考えられるため、やや悪くなっていると判断する。	
		スーパー	12月はクリスマスや年末商戦などの行事が多くにぎわいがある。12月と比べると3月は悪くなっていると予想する。新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大の懸念がある。	
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスについて、変異株であるオミクロン株の拡大を懸念しているため、やや悪くなっていると判断する。	
		レストラン	ガソリン代、商品等の値上がりで家計への負担が大きくなると思われるので、やや悪くなっていると判断する。	
		割烹料理店	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の影響が出てくると思うので、やや悪くなっていると判断する。	
		都市型ホテル	3か月後には歓送迎会等のシーズンとなるが、予約状況は現在の利用数を下回る動きとなっており、下がると予想される、ためやや悪くなっていると判断する。	
		レジャー施設	新型コロナウイルスの変異株による感染者が増えてきている状況から、第6波の可能性が高くなってきていると感じるため、やや悪くなっていると判断する。	
企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナウイルスの感染拡大により第6波を懸念する。		
	運輸業（道路貨物運送業）	燃料の高騰及びトラック用アドブルーの入手困難の影響を受け、貨物の運送が滞ってしまう可能性があるため、やや悪くなっていると判断する。		
悪くなっている	家計	レジャー施設	新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の感染拡大により、再び施設の閉鎖が懸念されることから、景気が悪くなってくると思われる。また、客の中には会社を営んでいる方がいるが、特に飲食業の方に関しては、オミクロン株の影響を受け、打撃を受ける形になるだろうと考えている。	
		企業	製造業（食料品）	値上げの影響で消費が鈍ると思われるため悪くなっていると判断する。
			製造業（窯業・土石製品）	現時点で受注がないため悪くなっていると判断する。
建設業	問屋、木材業者に聞いても材料の値下がりも難しく、もっとひどくなるのではないかと心配している。実際、見積りを出しても、こんなにかかるなら後にするなど客の反応は鈍いため、悪くなっていると判断する。			

(3) 鹿行地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
やや良くなっている	家計	小売業（薬品店）	給付金により、子育て世代の支出が増えることが期待できるのでやや良くなっていると判断した。
		和食レストラン	第6波があるかどうかにもよるが、回復を期待する。
		洋食食堂	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の出現で何とも言えないが、今までのような感染爆発にならなければ少しずつ仕事も元に戻れるのではないかと思います。
		観光型ホテル	Go To キャンペーンが再開し、人の往来が増えると考え、景気もやや良くなるのではないかと考える。しかし、新型コロナウイルスの感染者が増えたと緊急事態宣言等が発令され、自粛の流れになるため、景気も悪くなるのではないかと考える。
		旅行代理店	感染者減数で、Go To トラベル事業も再開予定なので期待したい。
		レジャー施設	新型コロナウイルス感染拡大状況にもよるが、現在、感染状況が落ちついているので人の動きが増え、消費が更に増えると予想できるため、やや良くなっていると判断する。
	企業	農業関係者	昨年より、景気の回復が目に見えて良くなってきているのが分かる。今後、政府によって財政支援が行われた場合、足元の景気も更に良くなってくると思われるため、やや良くなっていると判断する。
		製造業（電気機械器具）	電子部品の調達困難による生産調整について、やや改善される見込みのため、やや良くなっていると判断する。
		製造業（金属製品）	IC関連（電気部品）の受注は上向きである。新型コロナウイルスの影響で家庭内で過ごす時間が多いライフスタイルのため、白物電化製品の売れ行きも多いようなので、やや良くなっていると判断する。
		建設業	年度末を控え、より動きが活性化すると思われるためやや良くなっていると判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	燃料の価格が落ち着けば良くなる見込みのため、やや良くなっていると判断する。
		運輸業（道路貨物運送業）	業績面の推移から、前年対比のアップ率が微増ながら現状推移がしばらくは継続されると思う。
	雇用	人材派遣業	直近の依頼で3か月以降まで受注が出てきているため、やや良くなっていると判断する。
変わらない	家計	商店街代表者	今後における景気の行き先について、政府の施策に期待を持ちつつも3か月程度の期間では、さほど変化はないように思われる。新型コロナウイルスが収束して数年単位の日数が必要ではないかと考えるため変わらないと判断する。
		スーパー	新型コロナウイルスの新しい変異株の感染状況により社会環境が大きく変化するため、予測は難しいが、もし感染状況が現状程度であれば需要は現時点と同水準であると考えられる。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルスの感染拡大の状況次第で変化があると思われる。
		コンビニエンスストア	客がまだまだ不安感から抜け出せないため変わらないと判断する。
		家電販売店	状況が好転するまでの要素がないため、変わらないと判断する。
		農産物直売所	一度このような状況になり、そこに慣れてしまっているので変わらないと判断する。
		農産物直売所	新型コロナウイルスが終息しない限り、客足は以前のように戻らないと思うので変わらないと判断する。
		小売業（菓子類）	特に良くなる、また悪くなることはないように思う。ただオミクロン株の感染者が増えると悪くなるかもしれない。
		小売業（食品）	いまひとつ動きが鈍い。オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）に注目している。
		割烹料理店	新型コロナウイルスも、変異しながらかないで、今以上には良くならないのでは。
		ゴルフ場	新型コロナウイルス拡大の影響が残り、今以上の好状況にはならないのではないかと考えるため変わらないと判断する。
		住宅販売会社	商談・見積提出・成約・工事・回収と一連のサイクルになるが、受注残なく1月以降の工事が無い状況のため変わらないと判断する。
住宅販売会社	変わる様子がない。		

変わらない	企業	製造業（化学工業）	ユーザーの生産の稼働率は横ばいの状況が3か月先も続くと思われるので、景気は変わらないと思う。
		製造業（精密機械器具）	売上げが伸びず景気は変わらないと判断する。
		製造業（食料品）	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）が心配だ。国内感染が広がれば景気は悪くなり、さほどでなければ変わらないと判断する。
		製造業（鉄鋼業）	現状は非常に良い状況であり、この状況がしばらくキープされると感じている。
		建設業	新型コロナウイルスの変異株の状況にもよるが、消費者の生活様式が変わり金の使い方が変わったためにネット販売は好調だが、対人によるサービス業、小売業も現状が続くと思われる。
		金融業	現在は新型コロナウイルス感染者も少なく抑えられているが、新たな変異株（オミクロン株）の出現や、インフルエンザの流行による不安が払拭できず大きな景気回復は期待できないため変わらないと判断する。
		保険業	景気の良い人、悪い人の格差が見られるが大きな変化はない。
		不動産業	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）が出たことによりこの先どうなるのか。売上げは前年と同じくらいのため変わらないと判断する。
		サービス業	正月休みが明けてオミクロン株の感染状況によって左右される可能性が極めて高いと推察されるが、実務ベースでは以前と比べてWEBミーティングが完備されてきており、デルタ株の流行時に比べると活動しやすい環境になってきていると思われる。
雇用	公共職業安定所	新型コロナウイルスのワクチン接種率の向上後も、宿泊、小売業等の求人が回復していない。オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の感染が広がれば悪化する可能性があるため、変わらないと判断する。	
やや悪くなっている	家計	スーパー	原油価格高騰による値上げが続いているため、やや悪くなっていると判断する。
		衣料品販売店	オミクロン株が今後どのように広がるか不明。外出を控える人がまた増えるのではないかとと思うので、やや悪くなっていると判断する。
		小売業（薬品店）	相変わらず新型コロナウイルスの影響で受診抑制が続いていると感じるし、処方元での薬の長期投与の影響も出ているためやや悪くなっていると判断する。
		小売業	新型コロナウイルスの新たな変異ウイルスが流行しそうな気がする。また、慎重な行動をするので、景気は悪くなるのではないかと心配している。
		日本料理店	オミクロン株が急速に増えて、また自粛ムードになりそうなのでやや悪くなっていると判断する。
		運転代行	3か月先はまだ寒い時期であり、売上げも期待できない傾向にあると思うので、景気はやや悪くなっていると判断する。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスもいろいろと変異し、この先不透明な状況だと思う。変異したオミクロン株がどうなるかわからないし、景気は当分良くはならない。オミクロン株からまた変異し、当分続くと思う。
		道の駅	新型コロナウイルスの拡大（第6波）がどうなるかによって、減少すると思われるためやや悪くなっていると判断する。
	企業	製造業（食料品）	新型コロナウイルスの感染者の減少により経済活動の活発化が進む中で、新たにオミクロン株の感染拡大傾向が続いていることで景気上昇の抑制要因となることが懸念されるため、やや悪くなっていると判断する。
		製造業（ゴム製品）	客先からの3か月先の予定発注が減っているため、やや悪くなっていると判断する。
	雇用	学校就業関係者	世界的な感染拡大同様に、日本にも感染拡大が生じると思われるため、やや悪くなっていると判断する。
		求人开拓員	給料は増えない、ボーナス等はカットされる。そこにまた、新型コロナウイルスの新しい変異ウイルスが発生する。政府等の助成は後手に回る。この繰り返しが続くのではないかと感じられるため、やや悪くなっていると判断する。
	悪	家計	小売業（書店）

(4) 県南地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント
良くなっている	家計	小売業	新型コロナウイルスの感染状況にも大きく影響されるが、新型コロナウイルスを前提とした日常生活に多くの客が適応しており、限りなくコロナ禍前の消費行動を取り戻していると感じる。また旅行など一部の業種がまだ足踏み状態であるが、Go To トラベルの取組み待ちの様子で、大きく改善が見込まれるため良くなっていると判断した。
		洋食食堂	客層が大きく変化せずに来店していただけている。毎年、必ず予約をいただいている客が多いので40年近く営業している信頼関係のおかげだと思ふ。景気は良くなっていると判断する。
	企業	製造業（その他）	この先も受注件数が伸びそうなので、良くなっていると判断する。
		建設業	3か月先は年度末であり、工事量が増えるのは当然である。しかし、今現在で3か月先までの工事を受注している状態である。社員が少ないせいもあるが、確実に景気はよくなっていると思ふ。
やや良くなっている	家計	スーパー	今後の景気回復の要素が見当たらない。10万円支給による売上げ上昇が期待されるため、やや良くなっていると判断する。
		コンビニエンスストア	新型コロナウイルス次第で変化すると思われるが、やや良くなっていると判断する。
		衣料品販売店	オミクロン株（新型コロナウイルス変異株）の影響が少なければ、やや良くなっていると判断する。
		小売業（米穀）	オミクロン株の流行にもよるが、車、人の動きは確実に増えている（緊急事態宣言前までに戻るのもう少し先だと思ふ）ためやや良くなっていると判断する。ガソリンがもう少し安くなると良いのだが。
		和食食堂	単価の高い商品を頼まれることが増えているので、コロナ禍で消費できなかった反動が出ていると思われる。しかし、金を使う人と使わない人がいるのも現実であることから、やや良くなると判断する。
		日本料理店	接待、家族の集まり等で昼食に利用される客が増えると予測されるため、やや良くなっていると判断する。
		寿司店	年末年始を控え、良くなると思ふ。
		都市型ホテル	このまま新型コロナウイルスの感染が増えなければ順調に回復するものと思われるため、やや良くなっていると判断する。とにかく宿泊業は客が安心して移動ができるなら復調するが、感染が蔓延したり他県への移動規制が出ればすぐ客足は止まる。ひやひやしなながら感染状況を注視している。
		タクシー運転手	新型コロナウイルスの収束状況次第と思われるが、このままの状況が少しは続くと思われるためやや良くなっていると判断する。
		サービスエリア	新型コロナウイルスの感染について、新種の変異株が広がりつつあるが、現状、爆発的な感染の向きはなく、このままの流れであれば、今後も一定の景気回復は見込めると考えられるため、やや良くなっていると判断する。結局は第6波の程度次第ではある。
		ゴルフ場	企業接待やコンペの予約が従前に比べ早まっている。これはコロナ禍の沈静化により経済活動に活気が戻ってきているのではないかとと思われるため、やや良くなっていると判断する。
		テーマパーク職員	緊急事態宣言が解除され、落ち着きを取り戻したかと思つた矢先にオミクロン株の流行が懸念され始めた。情勢も不安定な中、もう少し様子を見て、春休みシーズンを狙ってレジャーや観光をと考える人が多いように感じられるため、やや良くなっていると判断する。
	レジャー施設	今後、新型コロナウイルスが消滅するなど大きな転換のきっかけがない限り、現状のままあまり動かないのではないかと予想する。ウィズコロナと言われ続ける限りは、どうしても以前のような思い切った活動はやりにくいのではないかと考える。	
	企業	製造業（食料品）	取引先からの注文が継続してある状態。来店客は変動ないと思ふがネット注文は堅調なので売上げの下支えになっている。オミクロン株のニュースが増えているが、今までの経験から注意している人の方が多いので、3か月程度では影響は小さいのではないかと考える。
		製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの感染拡大もだいぶ落ち着いてきており、やや良くなっていると判断する。
		製造業（非鉄金属）	コロナ禍の影響は和らいでくると思ふので、やや良くなっていると判断するが予断を許さない。
		不動産業	3か月先だと賃貸の客が動く時期なので必ず良くなっていると思ふ。期待している。
		金融業	「オミクロン株」への懸念はあるものの、感染状況は落ち着いており改善傾向は続くものと思ふ。しかし、ドル高・円安や、世界的な経済活動再開による原材料高や燃料高により取引先の収益は圧迫しており、今後コスト増を商品やサービスの価格に反映出来るかが課題である。
	雇用	求人広告	何かと値上げの傾向が強いが、その中でも高騰を防ぐための対策が行われていると感じる。また、景気がどん底だったこの1年を振り返ると感染症の更なる収束など、期待できる施策も多いためやや良くなっていると判断する。
求人開拓員		新型コロナウイルスの感染拡大が抑えられている状況にあり、さらにこの状況が続くと予想されることから、3か月先の景気は今年よりやや良くなっていると思ふ。	

変わらない	家計	家電販売店	新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の動向で状況が大きく変わってくるため、変わらないと判断する。	
		スーパー	新型コロナウイルスの変異株の影響で、今後も経済活動が活発化することはないと思われる。それに伴い景気の悪化も考えられる。	
		スーパー	新型コロナウイルスの第6波が来なければ、しばらくは今のままの状況で推移すると思われる。	
		家電販売店	短期的には現状維持の横ばいと予想されるため、変わらないと判断する。	
		農産物直売所	固定客、リピーターが多いが特に変わりはない。	
		小売業（生花店）	客との会話からは、新型コロナウイルスへの安心感は程遠く、必要最小限の活動範囲で生活しているように聞こえる。家庭を持つ中年以上の客が多いことも要因と考える。	
		都市型ホテル	このままの調子であればということであるが、新しくオミクロン株の風評も含めて宴会・レストラン予約キャンセルもここ直近で増えつつある。見通しが付かない状況なので、とりあえず景気は変わらないと思われる。	
		都市型ホテル	年度末となるため例年でもそれほど期待できる月ではないが、歓送迎会などのシーズンとなるため客単価の良い宴会の利用が増えることを期待したい。	
		タクシー運転手	今後も前年比の売上げは増えると思われるが、燃料を始め原材料費が高止まりで利益の増は望めないのでは変わらないと判断する。	
		ゴルフ場	現在の状況は悪くはない。今後これ以上良くなる要因もなく、オミクロン株の発生やガソリン他食品の値上がり、半導体不足による様々な物の納品遅れ等良くなるとは思えない。	
企業	農業関係者	今後の景気回復の要素が見当たらない。		
	製造業（食料品）	特に景気を左右する大きな要因が見受けられないため変わらないと判断する。		
	製造業（飲料）	新型コロナウイルスが未だ不安なため変わらないと判断する。		
	製造業（窯業・土石製品）	原材料高、需要減の顕在化により変わらないと判断する。（変わらないとやや悪いの間のイメージ。）		
	製造業（一般機械器具）	変わるような材料がない。		
	運輸業（倉庫業）	今以上の動きは期待できない。色々な理由で現実的に在庫が枯渇している荷主もいるため変わらないと判断する。		
	不動産業	売上げは堅調に推移しているため変わらないと判断する。		
雇用	民間職業紹介業	製造業の生産量は上がるが、新型コロナウイルスの蔓延により相殺されてしまうため、変わらないと判断する。		
	公共職業安定所	製造業からの求人は好調であるが、原油高、円安等による原材料の値上げ等の影響に懸念があるため変わらないと判断する。		
	学校就業関係者	業務の関係から求人数での判断となるが、大きく求人数が増えたり減ったりする様子はないため、変わらないと判断する。		
やや悪くなっている	家計	スーパー	物価の上昇によりやや悪くなっていると判断する。	
		コンビニエンスストア	オミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の流行の懸念があり、外出を控える風潮により、土日、祝日は客数が減少すると予想するため、やや悪くなっていると判断する。	
		タクシー会社	新型コロナウイルスの第6波やオミクロン株（新型コロナウイルスの変異株）の影響でまた客が減りそうなので、やや悪くなっていると判断する。	
		ボウリング場	現在、新型コロナウイルスが落ち着いてはいるが、人の流れが多くなり対策意識が低下している人をよく目にする。今後の変異株が景気に悪影響を及ぼす感じがあるため、やや悪くなっていると判断する。	
		その他	公募の応募が減少傾向であるため、やや悪くなっていると判断する。	
	企業	製造業（印刷・同関連業）	新型コロナの感染が終息しても、すぐには消費の回復は見込めないように思う。自治体などの予算配分が大きく変化している。従来事業から新型コロナウイルスの対策に移っており、縮小や中止される事業も少なくないためやや悪くなっていると判断する。	
悪くなっている	家計	理・美容店	新型コロナウイルスが収束しない限り悪くなっていくと思う。	
		企業	農業関係者	新たな新型コロナウイルス（オミクロン株）の感染拡大が懸念される事から、外出を控える声が聞かれるため悪くなっていると判断する。
			製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの変異株が流行しているため、悪くなっていると判断する。
建設業	資材の値上がり及び品物がない状態。注文を受けても品物納期未定のため仕事にならない。また注文を受けても納期確認で納入日決まらず入荷待ちの状態が続くと予想されるため、悪くなっていると判断する。			

(5) 県西地域 【先行き】

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	家計	食堂	新型コロナウイルスの感染拡大がなければ間違いなく景気は良くなってくると思うが、万が一感染拡大が起これば景気は悪くなってしまおうと思う。	
やや良くなっている	家計	商店街代表者	学生服のシーズンに入るのでやや良くなっていると期待する。	
		家電販売店	非常に緩やかではあるが客数は増加すると思われる。高価格帯の商品に限っていえば、半導体の影響にて在庫がない物でも前年比よりも売れているため、やや良くなっていると判断する。	
		レストラン	ランチに関しては普段に戻っているが、夜にグループでの利用がないと酒も出ないし営業的には厳しい。	
		日本料理店	コロナ禍が終息していけば現在よりは良くなる気配があると思う。ただV字での好転は期待できない。この1年が大変不安である。	
		旅行会社	新型コロナウイルスのワクチン接種の3回目も始まり、薬も出来てくるだろうから、安心感から世の中全体が活発化してくる気がするため、やや良くなっていると判断する。	
		道の駅	新型コロナウイルスの感染状況が減少している中で、新しい年を迎え、客の購買意欲が上がることに期待してやや良くなっていると判断する。	
		商店街代表者	感染の予防対策も日常化しており、またこれからは年末年始になり、徐々に消費者の行動範囲も広がりつつある。18歳以下を対象とした特別定額給付金の給付も始まり、その効果はある程度期待されるが、新型コロナウイルスの変異株が国内でも確認されているので、その感染者数の動向によっては、景気の先行きに影響してくる。	
	企業	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスへの対応がある程度見えてくるかと思われるため、やや良くなっていると判断する。	
		製造業（窯業・土石製品）	競争相手が中国のメーカーを含めて年々少なくなりつつある。しかし、それは需要の減少によるものであり、両刃の剣である。多面的にとらえて良い方向に舵を取りたいと思う。	
		建設業	職種によって、忙しくて間に合わない所も出てきているので、やや良くなっていると判断する。	
	雇用	求人広告	食材や木材の高騰が終われば少しは回復するのではと思うので、やや良くなっていると判断する。	
		人材派遣業	新型コロナウイルスの鎮静化に伴い、各企業で凍結していた採用を再開する動きがある。また、コロナ禍の影響を大きく受けていた外食関係の雇用が大きく回復していくのではと感じるため、やや良くなっていると判断する。	
	変わらない	家計	商店街代表者	何にも増して新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が諸悪の根源。これに振り回されると思うので変わらないと判断する。
			スーパー	感染爆発ともなれば、話は別だがコロナ禍の中で慣れきっている感じがある。外出自粛でスーパーは特需傾向だったが完全に通常状態に戻っているため変わらないと判断する。
スーパー			景気回復はまだ見込めないように思うので、変わらないと判断する。	
コンビニエンスストア			今のままでいくような気がするため変わらないと判断する。	
衣料品販売店			一般衣料の来客は期待できないため変わらないと判断する。	
自動車販売店			3か月で変わると思えないので変わらないと判断する。燃料費、原材料の高騰次第では、変化があるかもしれない。	
農産物直売所			青果物の単価が劇的に回復すると思えないため変わらないと判断する。	
和食レストラン			新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株が発生し客足が止まると思うので変わらないと判断する。	
旅行代理店			オミクロン株が出ていることなどと、寒くなるので春季までは見通しが良くないと思う。Go To トラベルの再開を期待する。いば旅あんしん割を今後も続けていただきたい。県内の旅行関係者が活性化し、少しでも伸びるようにお願いしたいと思う。	
道の駅			当面は第6波を警戒した動きとなると考えられるため変わらないと判断する。	
ゴルフ場			例年通りの予約状況であり、コロナ禍に伴う多少の自粛も想定しているため、変わらないと判断する。	
レジャー施設			年末年始の動向次第と思われるが変わらないと判断する。	
レジャー施設			新型コロナウイルスの影響が若干再燃する可能性があり、楽観視はできないと思うので変わらないと判断する。	
理・美容店			ある程度回復してきたと思うが、来店サイクルは延びているようなので変わらないと判断する。	
設計事務所	状況が改善するとは考えにくいので変わらないと判断する。			

変わらない	企業	畜産業関係者	特に変化する要素がない(オミクロン株が気になるくらい)。
		農業関係者	しばらくは新型コロナウイルスの影響により青果物等の引き合いが弱い予想。また、米穀関係も同様に海外からの観光客等の入国が見込めないため、販売状況の好転が見込めない。
		製造業(電気機械器具)	材料の値上がりと入手性の不透明感がまだしばらく続くと思われるため、変わらないと判断する。
		製造業(印刷・同関連業)	新型コロナウイルスの影響から離れることは困難なため変わらないと判断する。
		製造業(化学工業)	電子材料受注好調環境は当面は続くという市場情報により、変わらないと判断する。
		製造業(電気機械器具)	中・長期の予測は難しいが、一部の部署で受注増による人員要請(増員要請)を継続している状況は当面続くと思われるため変わらないと判断する。
		建設業	特に変化を感じない。
		金融業	新型コロナウイルスは減少するも全ての業種で原材料費が高騰しており、価格に転化することが難しく今後3か月先においても変わることがないと思慮する。
		サービス業(コンサルト業)	今後も大きな変化はないと思う。むしろ悪化しないことを希望している。
雇用	人材派遣業	この先の依頼があまり来ていないので変わらないと判断する。	
	学校就業関係者	特段良くなる要素もないため変わらないと判断する。	
	求人開拓員	新型コロナウイルスの変異株(オミクロン株)の感染拡大が日々報道されている状況から、3か月後の経済活動にどのような影響が出るか想像がつかない。	
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	現在、諸外国で増加している新型コロナウイルス並びに変異株のオミクロン株の流行が日本においても流行するのではないかと考える。その影響で再び外出する人の数が減り、店舗においても客数の減少すなわち売上げ減少の流れになると思うので、やや悪くなっていると判断する。
		メガネ・時計販売店	オミクロン株(新型コロナウイルスの変異株)感染者が、今より増える恐れがあるためやや悪くなっていると判断する。
		小売業(酒類)	今のところ新型コロナウイルスの感染者数も落ち着いていて、警戒心は持ちながらも人が少しずつ動き始めていると感じる。皆この先の予想として数か月後にはまた感染者数が増えるだろうと見込んでいるのでやや悪くなっていると判断する。
		ゴルフ場	職場でも新型コロナウイルス、オミクロン株や第6波の話題が出ており、警戒するよう指示されている。世間的にも警戒感が増し、景気は落ち込むのではないかと感じるためやや悪くなっていると判断する。
		設計事務所	物の値上げに便乗して、手間の値上げを付け足す業界の態度に嫌気がさし、発注の気持ちが冷める。
企業	製造業(非鉄金属)	中国から輸出されている製品の価格が下落した(相場が下がり始めたため)。日本国内の製品価格に影響を及ぼす。新型コロナウイルスで部品(海外から輸入)が入らず販売が伸びないため、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業(金属製品)	昨今の素材価格の高騰は注文数に微妙に影響しているように思えるので、やや悪くなっていると判断する。	
	製造業(金属製品)	年末年始などの休みがあるため一旦仕事が止まるのでやや悪くなっていると判断する。	
悪くなっている	家計	製茶販売	良くなる理由がない。
		都市型ホテル	新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の感染者増加により、悪くなっていると判断する。
		観光型ホテル	新型コロナウイルスが一番の要因での景気の悪さである。解除されても一時的なことで気を緩めるとすぐに禁止になる。そんな中で景気が良くなるわけがない。企業としての自力もなくなってくる。新型コロナウイルスの不安がなくなって100%安心が回復されなければ、3か月先を予想することはできない。
		クリーニング店	今年の冬はいろいろな物が値上げしているが給料は上がっていないと聞く。新型コロナウイルスがどこまで落ち着くのか分からないので、先が良くなるとは思えない。



Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	消費意欲のある方とない方ははっきり分かれる。他の店舗が店を閉めることから残存者利益が出てきた。ネット販売を意識した店舗の商品の品揃えをしているため、遠方からの来店者が増えた。メンテナンスなどのネットでは買えないサービスが活況。低価格品よりは、少し良いのものニーズが増えた。
	商店街代表者	取り扱う金属のうち、ステンレス材の値上がり止まらない。スチール、アルミを含めて全体的に値上がっているため、メーカー側からの値上げ通知が止まらない。
	スーパー	半導体不足問題で新車の納車が遅れ、中古車市場が忙しくなっているようだ。新型コロナウイルスの影響による関連問題で各業者での景気上下が発生しているように感じる。
	酒・各種商品小売業	とりあえず新型コロナウイルスの感染者が少なく、周りでも普通に飲み会をする人達が増えている。
	コンビニエンスストア	街道の店は夜の売上げが、町中の店は昼の売上げが悪くなっている。
	小売業（弁当・惣菜店）	新型コロナウイルスの危機意識も底を打ったかのような話もあるが、変異株の影響も気になる。企業のリモートも慣れてきて以前のような会議や出張は減っているの、元のような戻り方はないと思う。この対応は大変だと感じる。不安な要素に最低賃金の上昇、食用油や小麦の値上げは原油の上昇のようにあらゆる分野で影響があること。また働き手をもっと働きたいにもかかわらず、配偶者控除の枠が上限となり働けないといったこともある。
	小売業（水産物）	新型コロナウイルスの緊急事態宣言が解除され客が外出しているようで、買物も足を運ぶ回数が多くなっている。このまま新型コロナウイルスの影響が落ち着けば景気も回復してくれると思う。
	小売業（時計）	催事やイベント等には多くの人出があるようだ。
	レストラン	コロナ禍で悩まない生活を早く送れるよう祈る。
	日本料理店	飲食店としては夜の夕食が少し減ってきており、平日の夜営業が厳しくなっている。
	スナック	大型スーパーやファミリー向け飲食店には人が集まっているが、夜の飲食店はガラガラである。
	日本料理店	ガソリン価格の影響かどうかは分からないが、他県ナンバーの来店が以前より減っているように感じる。
	観光型ホテル	食事や買い物に出かけるとどこに行ってもかなりの人出があり、飲食業者も小売業者も好況なのが感じられる。ただ、製造業や建築関係の人からは物(部品、製品)が入らず、完成品を客に引き渡せないという話を頻繁に聞く。
	タクシー運転手	会社員の利用が増えた。
	タクシー運転手	新型コロナウイルスの感染者減少の気の緩みで平常に戻りつつある。3回目のワクチン接種を早めて、高齢者のタクシー利用の需要を期待している。駅前の商業施設の閉店セールで少しにぎわいが出ている。
	ドライブイン	今は下がってきたが行楽シーズン終盤のガソリンの値上げには慌てた。また、備品や設備が故障すると、在庫がない、部品が入ってこない、など新型コロナウイルスの影響が出てきている。食材なども、油製品、粉製品は以前から値上げを始めている。飲食店にも賑やかさが戻り、観光もしやすくなってきたとはいえ、以前と同じ頻度では出歩けないかもしれない。生活に密着した部分の財布の紐はまだ固いようだ。
	レジャー施設	新型コロナウイルス感染者数が大幅に減少したためか各所で人出が多く見受けられ、景気回復に寄与していると感じる。
	ゴルフ場	若い方のゴルフプレー人数が平日、土日問わず増えた。
	ゴルフ場	勤労者の賃金上昇の雰囲気はまったく感じられずマインドが低迷している。
	写真店	18歳以下への給付金による当社への経済効果は、まだ見られない。
写真店	新型コロナウイルスの影響で仕事の依頼が中止・縮小が多いため、今後もまだまだ厳しい。	
住宅販売会社	新型コロナウイルスがだいぶ落ち着いて来たので、飲食店が店舗改装して売上げ増を目指すことが増えてきた。	

企業	林業関係者	林業・木材業の業界においては高値であるため、現在は高水準で安定している。しかしながら、これまでの事（価格・販路等）を考慮しながらも、現在の状況をみて大胆な設備投資なども行われている。
	製造業（電気機械器具）	ガソリン代を含め、物価が少し高くなっている感じがする。
	製造業（電気機械器具）	部品や消耗品等で納期が従来以上にかかるものがある。特に水銀灯の代替用のLED照明は半年かかるとのことである。
	製造業（化学工業）	当社への訪問者が増えて人流の増加が実感できる。
	製造業（電気機械器具）	あらゆる材料の高騰と納期確保が難しい事からか、注文納期も長いものが手配されてきた。
	製造業（一般機械器具）	ニュースでもあるが半導体不足による部品の納品遅延の影響がある。
	製造業（精密機器）	世の中の変化が進んでいるようで、対応力により差別化が進んでいると思う。
	製造業（精密機器）	やはり全体的に悪いと思う。車以外は戻ってきているが、それも不明確である。
	金融業	建設業については、急な工事受注増加から、人手不足・外注先不足が見受けられる。
	情報通信業（情報サービス業）	ガソリン価格が3か月前と比較して高い。また、コロナ禍が落ち着いて、外出や旅行・忘年会・イベント等が徐々に行われるようになってきた。
運輸業（精密機器運送）	緊急事態宣言が明けたことで、飲食業は年末にかけて回復傾向がみられている。	
雇用	求人広告	茨城ならではの強みとか地産地消のような考え方を、あらゆる分野で率先して行っていないと、地方はどんどん縮小して総数が減ってしまうと思う。
	公共職業安定所	郊外型ショッピングセンターへ客が集中し、コロナ禍による客の買い方の変化もあり、業績が低迷している状況が続いたため、令和4年1月中旬に総合スーパーが閉店することとなった。
	学校就業関係者	食料品等の相次ぐ値上げがニュースとなっているが、ガソリン以外はそれほど値上げしているようには思えない。
	求人開拓員	大型ショッピングセンターに入ると、お歳暮ギフト、クリスマス、お正月と別世界のような賑わいだ。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	新型コロナウイルスの影響で、国内メーカーの海外生産品の入荷が滞っており販売に支障をきたす事案が発生している。せつかくの販売チャンスを逃すことになり影響が大きい。
	小売業	商店街への来街者、特に高齢者が目に見えて増えてきているように感じる。
	小売業	長引くコロナ禍の落ち着きが、外出エリアの広域化につながったことで、地元消費に傾いていた消費行動が都心部に一部流れはじめている。特に感度が高い情報追随層にその傾向がみられる。
	小売業	外に出る機会が増えてきているためか、アパレルの動きで一部上向きになってきている。また昨年のおせちは帰省する家族が減ったことから単価、数量とも減少したが、本年は2019年のコロナ禍前の動き方に戻ってきている。
	割烹料理店	やっと少しずつ経済が回り始めたと思ったら、また新型コロナウイルスの変異株が出てきて正直辛い。
	スーパー	1年前と比べて、食品のまとめ買いが減っている。
	コンビニエンスストア	茨城空港の国内線便数が回復している。
	農産物直売所	今年も忘年会、新年会はほとんど中止となった。
	楽器販売	イベント等の行事が着実に回復し、人の流れも戻りつつある。音楽教室等のお稽古事は2020年9月頃にはほぼ回復したが、物販は未だ厳しい。特に半導体不足から電子楽器の入荷がストップしており、特約契約以外のメーカー品の販売に舵を切っている。
	レストラン	緊急事態宣言解除後、アルコールの需要が伸びるかと思われたが、解除前よりアルコール類の出卓が減った。家飲みにも慣れてしまっているのか。
	都市型ホテル	個人利用は回復傾向だが、法人利用はまだ鈍化傾向。
	観光型ホテル	週末は他県ナンバーの車も多く、町内の観光施設や飲食店が賑わっている。
	タクシー運転手	大人数での忘年会は今の状況では無理だが、確実に少人数での宴席は増えている。ただ、間違いなくタクシーの利用台数は減っているので、対応に苦慮している。
	タクシー会社	水戸駅の様子を見ると、県外からの客が一気に増えた感覚がある。
	タクシー会社	県外からのスポーツイベント参加者の送迎や一般旅行者の県内周遊・問合せが増加している。また、高齢者の送迎も増えてきている。
	道の駅	観光バスが増えてきた感はある。行楽なども増えている。だが、生活様式が変わったのか、夜飲み歩きや外食などはまだまだという雰囲気。
	スーパー銭湯	12月の平日に那珂湊市場に行ったところ、海沿いの駐車場はいっぱい各店は活気があった。景気が戻りつつあることを実感した。
	スーパー銭湯	人手不足により営業時間短縮や営業日削減などをする店舗が増えている。重油高を始め、あらゆる物の値上げで仕入れ値が上昇しているが、サービス業は客数の戻りがそこまで追いつかなく、値上げに踏み切れない。また、最低時給が上がり、人件費の増加、人手不足による求人費用の増加と、利益を出すのが難しくなっている。
	ペット美容室	投資を始める人が多い。
	設計事務所	材木等が品薄だが価格の判定も難しく、仕入れにも影響があるようだ。
企業	製造業(食料品)	以前よりも値上げが認められやすい。
	製造業(食料品)	原材料資材の全てが値上げになり、原価率を押し上げている状況である。
	製造業(印刷・同関連業)	自粛解除により人の動きは増えてきているように感じるが、経済の動きがまだまだ鈍く感じる。
	製造業(窯業・土石製品)	新型コロナウイルスの影響で仕事が少ない。しばらく続くと思う。
	製造業(一般機械器具)	国内で、新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株の感染が確認されたので、水際対策を徹底してもらいたい。
	製造業(精密機械器具)	弊社で関係するOEM商品で、微量元素分析装置がある。販売台数は固定客の平均を維持して来たが、ここ最近の引き合いはプラスアルファの台数が見込まれている。ただ、業績好調の裏には大変心配な今後の部材不足が懸念される。
	建設業	職種により景気の格差を感じる。
	運輸業(道路貨物運送業)	高速道路を通行するトラックが増えていると感じるが、ドライバーの拘束時間問題に先駆けた取り組みを始めている企業も増えていると思われる。
	金融業	市内における大型分譲地の販売状況が顕著である。特に建売の需要が多く、若年層に人気がある。ウッドショックの影響が残っており、新規着工は時間がかかってしまうと考えられる。
	建設業	新型コロナウイルスの影響なのか全体的に景気が悪いように見える。食事に行っても夜の飲食店に活気がなく空いている席が目立つ。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	小規模事業者向けのプレミアム付クーポン券の利用期間も11月末にて終了となり、現在店舗からの換金作業を行っている所である。市からの支援によるコロナ禍での実施ではあったが、事業者にとって売上げの貢献に寄与することが出来たのではと考えている。
	スーパー	外食産業の営業時間の制約が緩和され、土日・祝日の食料品（生鮮食品含む）の需要は低下している。プラス要因があるとすれば、リカー部門の収益の増加である。背景としては時短営業を余儀なくされた居酒屋等の営業時間が緩和され、当社が得意とするハードリカーの需要が回復したことに起因する。ただし、直近のドラッグストアの出店が加速度的に増加しているのので県内のSM業態の業績が低下する可能性が非常に強い。
	衣料品販売店	取引先の話聞いても衣料小売店は本当に厳しい（いい話を聞かない）。給付金があった昨年は一時的に売上げが上がったので今回も一律で配って欲しいのが正直なところ。洋服は生活必需品ではない。マインド的な要素がとても重要なので一時的にでも給付金が入れば売上げは上がると思う。
	農産物直売所	より格差が出てきていると感じる。客の買い方の変化からそう思う。
	小売業（薬品店）	昼ご飯を食べに行く前は混んでいた店が空いている事が多い。反対にコンビニの昼時は駐車場が混んでいる。社内でパンや弁当などを食べている人が増えている。
	小売業（食品）	良い所と悪い所、極端に差がある。ゼネコン関係はまちまちだが、飲食関係はまいちだ。
	小売業	大きな集まり事は引き続きないようだが、少人数の集まり事が増えてきているようだ。人が動けば、お金が動くことは当然。
	洋食食堂	以前はホテルや斎場等で行われていた慶弔用の料理が、テイクアウトや仕出しとして増えている。単価も2000～3000円と高めが支持されており、新型コロナウイルスの三密を避ける対策が少なからず自分の店に影響を与えていると思う。
	割烹料理店	今まで宴会などが出来なかった分、客単価は上がったが、売り上げ的には伸びない。
	日本料理店	忘年会は以前のように大人数がほぼなくなり、少人数で来てサクッと帰る習慣が出来たために遅くまで注文する客が少なくドリンク単価が落ちたが、一方で料理の単価はわずかに上がっている。
	海鮮料理店	10月1日過ぎからは他県からの客が来店している。日帰りコースで旅行気分を味わっていると話していた。少しずつだが人の流れが多くなったように思う。早く皆が楽しく元気になることを望む。
	観光型ホテル	いば旅あんしん割が、新型コロナウイルスのワクチンを2回接種した人も5000円の割引対象としたことにより、前回のPCRのみの割引よりも対象者が増え、旅行しようとする人が増えたと思う。
	運転代行	新型コロナウイルスも少し落ち着いてきたので多少景気も良くなると期待している。
	旅行代理店	燃料費等の高騰。
タクシー運転手	新型コロナウイルスが終息しなければ当分景気は回復しないと思う。日本だけの問題ではないので、一人ひとり良く考えて正しい行動をすることが重要で、そうすることにより自ずと新型コロナウイルスも終息するはず。人の動きも以前より活発になってきた今が大事だ。	
レジャー施設	高齢者、一人暮らしの方のテイクアウトが増えた。感染拡大状況が落ち着いているので、マスクの不着用者が多くなってきている。	
企業	農業関係者	最近、店に来店する客数が増えてきたように思われる。新型コロナウイルスがかなり減ってきたため人出が増えたことは、色々問題もあると思うがとっても良い事だと思う。
	製造業（化学工業）	引き続き原材料価格の上昇やひっ迫が起きている。国内製造業への影響が出てきていると感じる。
	製造業（精密機械器具）	売上げが減少している。
	製造業（食料品）	明らかに温暖化の影響による海水温上昇にて秋サバの魚群探知が遅れており、今後の魚価高示現は必至となって、原料高、製品安が予想されることから景気は厳しい状況となる。
	製造業（金属製品）	新型コロナウイルスの感染予防が功をなして、比較的感染者数が少ないのでやや普通の生活に戻りつつあるが安心はできない。飲食業関係は営業している店が多くなり安心している。

企業	建設業	職種によって異なるが、年末商戦の短期的な動きのある案件と長期にわたる案件の引き合いが始まっている。
	建設業	新型コロナウイルスの影響で2極化が進んでいる。田舎暮らしを進める不動産会社、社会保険労務士などが仕事の受注も多く景気が上向き傾向にある。
	運輸業（道路貨物運送業）	元バスの運転手さんが面接に来るが、研修の段階ですぐ退職していく。
	金融業	ウッドショックの影響や建築に係る資材等も高騰していると聞いているが、新築を中心とした住宅ローンの相談は増えているように感じる。
	不動産業	建物を建てるために見積りを取ったのだが、去年3月から5月の見積りとは物によって5%から15%値上がりしている。その他の部材も値上がりするそうだ。
	サービス業	製鉄所の縮小計画が発表されたが、それに代わるかのように新たなスタジアム建設の話題が提供されるなど、従来とは異なる動きが出てきたことによって、街全体の活性化に取り組む流れが出てきたようであり、地元企業への還元が大きくなれば景況感は大きく変わる可能性があるように思われる。
雇用	人材派遣業	景気が良い、好調な企業が増えている、とまでではないが堅調な業績が増えてきている印象。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	コメント
家計	家電販売店	作り手側の問題で、客の欲しい物がなかなか手に入らなくなっている。
	スーパー	仕入原価が上がっている。売価が高くなり売上げにも影響している。
	家電販売店	業種により明暗が分かれている状態だと思う。また、取引先の製造メーカーにおいては商品により納期の目途が全くたらず、品薄状態となっている。
	農産物直売所	土浦はレンコンが日本一の生産地なので12月はレンコンの売れ行きは半端ではないが、これは景気とは関係ないのかもしれない。
	小売業	特に土日祝日については、来館される客の時間帯が朝から日中に大きな波があり、夕方18時以降は利用が少なく前年割れの状況。まだ夜の飲み会や家族揃っての外食には慎重な様子が伺える。
	小売業（生花店）	納品先での職場見学に来た女子高生からの話では「県北では希望する職種を選択することが出来ないため、県南の事業所へ職場見学に来た」とのこと。県北の景況の厳しさが感じられた。また、県南地区は、相変わらず大規模倉庫の建設が続いており、世界的な物流の変革とイノベーションを感じる。
	小売業（米穀）	物が入って来ないという話を良く聞く。仕事の依頼はあるのに、それに応えられないらしい。給湯器、車（オートバイ含む）ゴルフのグリップ、シャフト等。新車の納期に時間がかかることから、中古車が売れていると聞くが、相場も上がっている。
	和食食堂	団体や家族、親戚の集まりが戻ってきている。アルコールの需要は戻ってきているが、ノンアルコールを頼まれることが以前よりも増えたと感じる。外食はするけれども、その時間を大切にするための食事との印象を受ける。客単価は低いことが多いにも関わらず、昨年より売上げが上がっていることから、外出、外食する意欲があると思われる。
	洋食食堂	個人としては旅行に行ったり、お芝居を観劇したりと感染予防しながら友人達と消費している。Go To Eatのおかげで新規の来店客もあり、ありがたい。少しずつ景気がプラスになっている。
	都市型ホテル	宿泊はいば旅あんしん割であったり、レストランはGo To Eatなど数多く予約が入った。緊急事態宣言解除後はやはり人の動きが多く、感染者が少なかったことで忘年会の予約も数件あった。
	都市型ホテル	他県の学生の宿泊団体が茨城県を利用する機会が増えている。修学旅行目的となり今までは取り込めていなかった客層なので今後さらに期待したい。
	都市型ホテル	タクシーの予約が以前より出来なくなった。多分、運転手の数が不足しているのではないかと思われる。また、以前より若い人達がお酒を呑むようになって来たようだ。若い人たちは感染しても重症化のリスクが少ないから緩みが早いのかも知れない。
	タクシー会社	交通量が増えた。飲食店も1～2時間待ちが増えた。
	サービスエリア	サービスエリア利用客の増加を受け、店舗にてスタッフの新規募集の動きが活発になっている。
	ゴルフ場	接待やコンペのゲスト利用者が増加しつつあるのは、コロナ禍の沈静化があり先行きに明るい希望が感じられるからではないかと思われる。
	ゴルフ場	少しずつ賑わいは取り戻している。年末ということもあり華やかさも感じられる。国民性として決まり事を守るように感じられるので、多くの人々を見てもマスクをはずしている人はほとんどいない。このまま落ち着いた状態が続いてくれることを望む。
	テーマパーク職員	やはり、今まで我慢していた食事会や飲み会など、まだまだ規模は縮小した中ではあるが、やっと出来ると喜ぶ人が多く、飲食や外食等に景気よく消費する方が多いように感じる。オープンエアなどを気にして、どちらかというとアウトドアな余暇の過ごし方だったのが、この12月は、ショッピングや飲食に、我慢していた分景気よく消費するのではと感じる。そしてまた新型コロナウイルスの感染者数が増えると、屋外の観光レジャーにシフトすると感じる。
	ボウリング場	団体予約がようやく動き出した。子供会や企業の予約が徐々に増えてきている。

企業	農業関係者	先行きの不透明感により、買控えの傾向が見受けられる。
	農業関係者	現在においては、新型コロナウイルスの影響が多大であり、例年との比較は困難である。今後の予測も非常に難しい。
	製造業（窯業・土石製品）	飲食店の客の入りが多いのが目に留まる。
	製造業（印刷・同関連業）	材料、機材などの入荷が遅れるケースが多い。また製造中止、廃盤となった品目もある。燃料費の高騰に加えさらなる景気の後退が原因だろうか。
	製造業（窯業・土石製品）	新型コロナウイルスの変異株の感染拡大によっては、前年以上に飲食・旅行などの業種がダメージを受けるのではないかと。
	製造業（非鉄金属）	原材料・燃料等の値上りが、収益を圧迫している。
	建設業	私（社長）はもうすぐ後期高齢者になるため店仕舞いの準備をしておき、銀行からの借り入れを少なくしている。しかし、このところ当社にとっては大きな工事が多く、資金繰りが大変である。コツコツ貯めた年金や預金を取り崩して会社の運転資金に充てている状態である。うれしいやら、悲しいやら。
	不動産業	新型コロナウイルスが収まっている感もあり、飲食店が多少活気づきつつあるように思う。続いて行ってほしいものだ。
	運輸業（倉庫業）	輸入、輸出向けのコンテナ不足により貨物の動きが変わってきている。それによって在庫増という結果にも繋がっているように感じる。
雇用	金融業	近隣の木造建築工事業者が破産申立開始。新型コロナウイルス感染拡大後はイベントの開催自粛などで思うように受注確保が出来なかったのが原因とのこと。また、半導体不足による新車販売の落込みから中古車価格が高騰しており、原材料高や半導体不足による影響が身近な生活に感じ取れるようになった。
	求人広告	飲食店で食事や・飲酒の需要が少し減ってきているように感じる。コロナ禍で行かないことに慣れ、全く行かなくなったという人も多く、今後の景気が少し心配だ。

## (5) 県西地域

分野	業種・職種	コメント
家計	商店街代表者	銀行なら給料日後や年金日、スーパー等はポイントや割引等のサービス日は客は入っているようだが、普通の日では来店客数は少ないように見える。
	商店街代表者	最近、地元の飲食店の駐車場は車の多さが目立つ。実際、休日の飲食店は待ち時間が長いようだ。ただし、リーズナブルな店に限るようだ。
	スーパー	自粛の反動で、消費が進んだように見えたが新型コロナウイルスの新たな変異株報道で、また出費を抑える傾向が強くなって来たように思う。先行きは未確定で不安である。
	スーパー	新型コロナウイルスの緊急事態宣言解除後も消費動向は大きくは変化していない様子。夜間の客数の減少は継続的である。
	コンビニエンスストア	10月にタバコの増税があったものの、購入数が減っていない＝売上げが増加していることから、タバコを止めるという選択肢をした人はかなり少なかったのではないかと考える。
	家電販売店	電話、ファックス、クリーナー、ブルーレイディスクレコーダー、冷蔵庫、ムービーなどは、新型コロナウイルスの影響により、半導体を手に入れることが難しいではなく出来ない時代にあると思う。ムービーなど年末年始、例年であればとても売れるが今では注文後、納期が来年の4月以降である。
	自動車販売店	半導体が徐々に出回り始めた事により、商品は流通し始めていると思う。
	農産物直売所	もち米を購入する方が多い。また、加工したもちや年越しそばの予約注文も多い。年末年始の人の動き（帰省）が多くなるかもしれない。
	メガネ・時計販売店	高齢者の一人暮らしの方や免許を返納して来店するのに苦労される客が増えている。
	小売業（酒類）	緊急事態宣言が明けてももっと爆発的に人が動いて経済が動くのかと思っていたが、警戒心が強く相変わらず年中行事なども中止の決定がなされていることが多い。そういった地域行事とかが動き出してこないとなかなか活発な経済活動には繋がらないと感じている。
	製茶販売	みんな出歩かない、出歩けない。出掛けるのを我慢しているのではなくて、出歩く気力さえなくなった。
	日本料理店	都心部や地方の主要部、観光地等は賑わいが出ているようだが県西では見られない。
	食堂	段々と人数の多い客が増えてきた。高齢の客の動きもだいぶ活発になってきたように思える。
	和食レストラン	忘年会の予約を入れる会社（企業）から、役所などから宴会の予約が入っているかと聞かれる。公的機関が宴会をやってくれれば一般企業もやるようである。
	都市型ホテル	新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株感染者が国内で出てから不安と心配の声を多く聞くようになった。
	旅行会社	2年間何かと我慢してきたので、一気に解放されたように見える。
	旅行代理店	燃料代が高く運賃を上げざるを得ない状況。しかし、客を確保するためには現状の料金設定で下限ギリギリにして楽しい初詣等を計画し参加を呼びかけたい。
	観光型ホテル	9月末の解除で11月から団体客の動きが見られてきて期待したのだが、それも完全なものではなく、ここにきてまた不安要因が出てきたので、来年1月は営業を休止することも考えている。高齢者の団体が主の客層なのだが送迎のバスさえも危惧されている。売上げを上げたくても市ではまだ団体行動を慎む要請が解除されていない。客をたくさん入れたいと思うが入れたら入れたで不安がある。従業員の身の安全を考えなければならない。新型コロナウイルスの対応を従業員一同で取り組んでいるが空気感染の対策は100%の安全ではない。このような状態で客を勧誘することにも躊躇する。営業しても売上げが上がるはずはない。営業を休めば社員は辞めていくし、継続すれば採算が合わない。これが現状である。
	ゴルフ場	際立って交通量は増えている。商業施設の混雑も明らかで景気としては向上しているように感じる。
	商店街代表者	年末年始は、一時的に物価の上昇があるが、ガソリン価格の高値安定や消費税によっては値上げの冬となっている。このことは、給料の実質的な減少となり、消費の足かせが懸念される。
設計事務所	経済活動は徐々に正常化しつつある。思わぬ新型コロナウイルスの影響が出てきているので、新たに影響を及ぼす事象が出てこなければいいと思う。	



企業	農業関係者	全般的に様々な活動が新型コロナウイルスの影響により自粛の動きが強いことから、景気が良いとは言えない。
	製造業（窯業・土石製品）	夏頃までは色々な業界から見積依頼が殺到しており、価格より納期重視の企業が多く見受けられた。
	製造業（非鉄金属）	設備に使用しているモーターの納期に見通しがついていない。半導体や部品（コネクタ類）の不足、すべて海外製品に頼り過ぎている。
	製造業（窯業・土石製品）	最近、保護猫（野良猫）を3匹面倒を見ていて、今では家族の一員と同じ思いで生活を共にしているが、その中の1匹が病気になり動物病院に行った。動物病院にはさまざまな犬や猫が来院していて、いかにも高額そうな犬猫ばかりで、我が家の猫は雑種で野良猫然としていて、周りからは違和感があり、ある種の劣等感を覚えた。動物に金をかけられる人たちが多いことは幸せな国なのだと思うにはいられなかった。
	建設業	仕事は忙しいが、原材料の高騰に加えて部材が入らないので利益率は良くない。
	金融業	建築資材価格不安定であり、見積書等を作成するのが難しい等の声が建設業を中心に聞かれる。
	不動産業	東京や神奈川方面の投資家が中古の戸建てや中古集合住宅を探している。
	サービス業（コンサルタント業）	新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除され、少しは夜の飲食店が活気づくかと思っていたが大きな変化は見られなかった。また、ビジネスホテルも数日前でも空室があり予約ができ宿泊できた。新型コロナウイルス前であれば不可能だったことで、そのようなことをみるとまだまだ戻っていないと感じる。
雇用	求人広告	住宅メーカーから非常に厳しいとの声を聞く。
	学校就業関係者	生徒の授業の様子を見て、日常生活が少しずつ戻って来たように思う。
	求人開拓員	周囲の状況を見ると、感染症対策をとりながら日常生活を取り戻しつつあるように感じる。